



小学校6年

教科	活用場面	番号・活用シート名	領域番号	基になった活用シート名	市町村	学校
算数	授業	①広告を読み取ろう	読 18	広告を読み取ろう	豊中市	野田小学校
国語	授業	②この絵、私はこう見る	書 14 ①	描写名人になろう	池田市	神田小学校
国語	授業	③よりよい文章に推敲しよう	書 16	よりよい文章に「推敲」しよう	箕面市	止々呂美小学校
国語	授業	④お話を一文でまとめ、主題を考えよう。	読 9	お話を一文で表現しよう	能勢町	能勢小学校
国語	授業	⑤よりよい文章に「推敲」しよう	書 16	よりよい文章に「推敲」しよう	守口市	さくら小学校
国語	授業	⑥描写名人になろう	書 14 ①	描写名人になろう	門真市	東小学校
総合	授業	⑦将来の夢	書 12 ①	将来の夢	門真市	北栄本小学校
国語	まとめテスト	⑧データにもとづいて	書 13	データにもとづいて	東大阪市	弥刀小学校
算数	授業	⑨スカイツリーの高さは？	書 10	買いたくなる広告を作ろう！	松原市	天美小学校
国語	授業	⑩図と表を関係付けて読もう	読 14	図と表を関係付けて読もう	羽曳野市	白鳥小学校
国語	授業	⑪プレゼンテーションをしよう	書 15	プレゼンテーションをしよう	太子町	磯長小学校
国語	授業	⑫敬語を使って、ワンランクアップ	言 6	敬語を使って、ワンランクアップ	千早赤阪村	赤阪小学校
算数	授業	⑬今日学んだこと、教えるよ！	書 7	今日学んだこと、教えるよ！	泉大津市	戎小学校
各教科	授業	⑭今日学んだことを教えるよ	書 7	今日学んだこと、教えるよ！	泉大津市	条東小学校
国語	まとめテスト	⑮この絵、わたしはこう見る	書 14 ①	描写名人になろう	泉大津市	条南小学校
国語	朝学習	⑯秘密のマーク当てゲーム	話聞 2	ひみつのマークあてゲーム	和泉市	北池田小学校
国語	授業	⑰将来の夢	書 12 ①	将来の夢	高石市	東羽衣小学校
国語	自学自習	⑱あなたも一句	言 4③	あなたも一句	岸和田市	克明小学校
国語	授業	⑲ひみつのマークあてゲーム	話聞 2	ひみつのマークあてゲーム	泉佐野市	北中小学校
国語	授業	⑳よりよい話し合いをしよう	話聞 10	よりよい話し合いをしよう	大東市	北条小学校
国語	授業	㉑よりよい文章に「推敲」しよう	書 16	よりよい文章に「推敲」しよう	熊取町	南小学校
特活 図工	授業	㉒描写名人になろう	書 14 ①	描写名人になろう	八尾市	志紀小学校
特活	授業 集会	㉓データにもとづいて	書 13	データにもとづいて	八尾市	志紀小学校
国語	授業	㉔立場を決めて話し合おう	話聞 13	立場を決めて話し合おう	八尾市	桂小学校
算数	授業	㉕直方体を組み合わせた図形の体積の求め方を発表しよう	書 2②	じゅんじょよく書こう	富田林市	喜志小学校
国語	家庭学習	㉖ヒーユ山へレッツゴー！	言 7	ヒーユ山へレッツゴー！	富田林市	久野喜台小学校
算数	授業	㉗そうなる訳はここにある	書 7	今日学んだこと、教えるよ！	松原市	天美小学校
算数	授業	㉘自分の考えをわかりやすく伝えよう	話聞 11	自分の考えをわかりやすく伝えよう	松原市	中央小学校
算数	授業	㉙班の考えをわかりやすく伝えよう	話聞 11	自分の考えをわかりやすく伝えよう	松原市	天美小学校

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【豊中市立野田小学校】

用シート名	①広告を読み取ろう			基になった活用シート名	読18 広告を読み取ろう
学年	小学校6年	教科	算数	時期	11月
活用場面	授業（テスト返却後の時間）			配当時間	20分

目標 必要な情報を資料から読み取る。条件に合わせて書く。

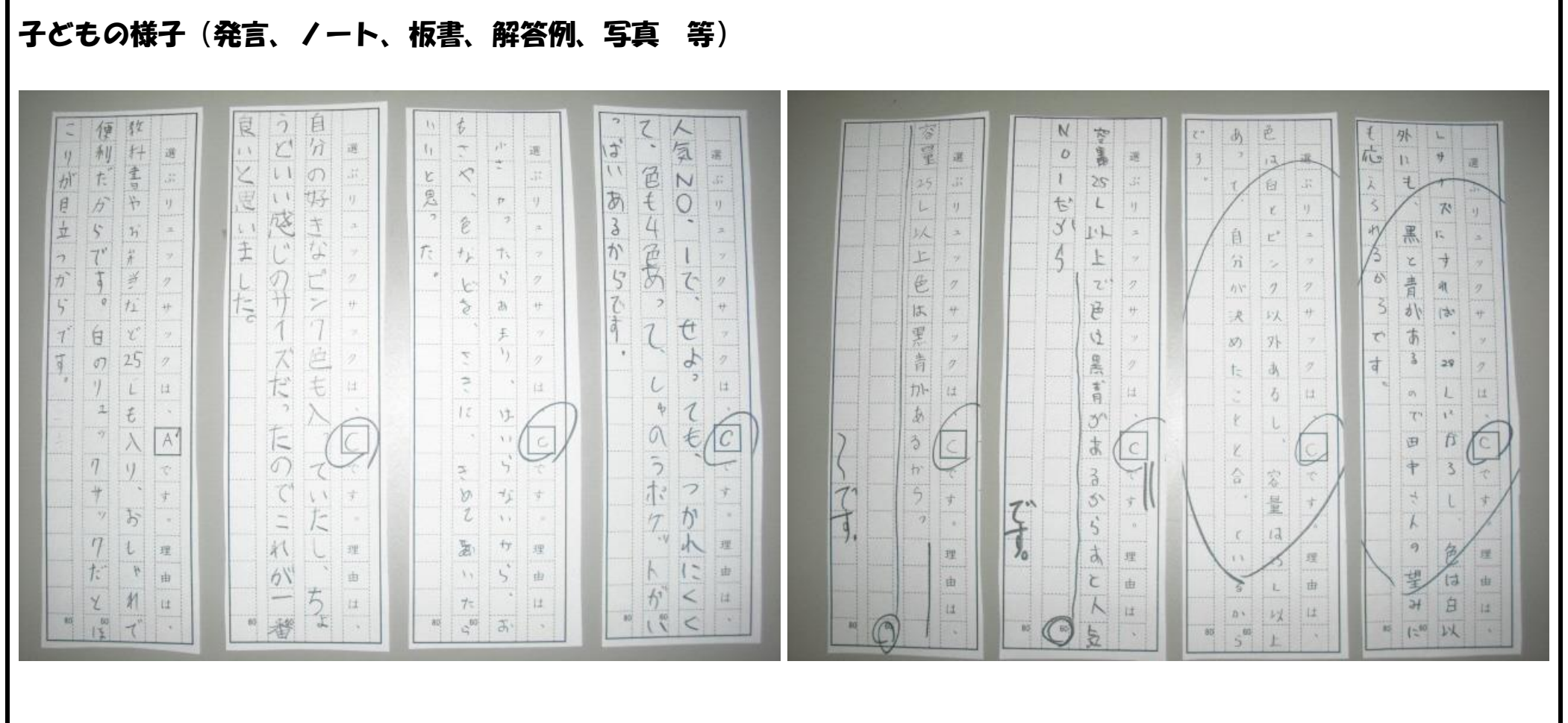
活用シート

工夫した点

- 児童の実態として、「文章から具体的にイメージする」「量感のイメージをもつ」「条件に合わせて書く」等に課題があった。算数の単元「比とその応用」ではよく容量や重さが話題になっている。そこで、単元テストの返却後、イラスト入りのリュックサックの話題で関心を持たせた。
- 戸惑っている児童には、「容量」の意味や、条件を説明し、広告の項目を見る視点を示した。
- 本活用シート返却時に「大きさ、重さ、容量」にふれ、「必要な情報とそうでない情報」について説明した。

成果や改善点

- 誤答から、子どもの課題が把握できた。
 - ・20分間を設定したが、10分以内に終わる子どもから、20分過ぎて終わる子どもまで、時間的な差が大きかった。
 - ・情報の読み取りについては、殆どの子どもが、正答を書くことが出来ていた。
 - ・文末を「～です。」と書いていない子ども、「～だから。」で終わっている子どもが意外に多かった。
 - ⇒ 目的に応じてふさわしい言葉を用いて書くことを普段から指導していく必要がある。
 - ・条件に合わせて書く意識がなく、自分の考えや好みを書いている子どもが数人いた。
 - (学習に理解力がある子どもも数人誤答している。)
 - ⇒ 記述や説明から必要な情報を読み取ったり、条件に応じて書いたりすることを指導していく必要がある。
- 朝学習の取り組み内容を研究中である為、活用の仕方の参考になった。



「ことばのちから」活用シート 活用事例


【池田市立神田小学校】

活用シート名	②この絵、私はこう見る			基になった活用シート名	書14① 描写名人になろう
学年	小学校6年	教科	国語	時期	11月
活用場面	国語の授業			配当時間	5時間

目標 絵から読み取ったことや感じたことを表現することができる。

活用シート

工夫した点



書14①

この絵、私はこう見る

半組

- 上段は、絵の周りに、絵から読み取ったことや感じたことを書き込めるようにした。
- 自分の書きやすい名画を選ぶように、他の名画のワークシートも作成した。
- 『鳥獣戯画』を読むで、学習した、読み取ったことや感じたことを表す表現をもう一度確認してから、解説文を書かせた。

成果や改善点

- 上段に絵から読み取ったことや感じたことを書き出せるようにしたことで、整理しながら解説文を書くことができた。
- 名画を選ぶように、何種類かワークシートを作ったので、自分に合った名画で解説文を書くことができた。
- 図工の時間に、解説文を考えた名画で、模写に取り組みさせてもよいと感じた。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

花がたくさんある。いろいろな食べもの。

ジャングルの奥深く、もじょうがない。平和でんびり。



ヘビは、魚をわらっているけれど、殺意はない。

緑がいっぱい、すずしそうなジャングル。水(り)もある。自由なジャングル。オレンジ色のものサルがあとっている。ヘビと黒いサルがじりれている。魚をヒラヒラしている。茶色いものサルは、ぼーっとしている。

めあて オリジナル解説文を書く。

まず、絵のまわりに、絵から読み取ったことや感じたことを、たくさん書きましょう。次に、それらを基にして、解説文を書きましょう。

野生の動物

自分のエサでは足りない感じ

色が少なく、草色や緑ばかり

広い。

花や家、建物がない。

絶対たり不足だから季節は秋くらいかな。

なんだから、暑よりしては、気温も低く感じる。

めあて オリジナル解説文を書く。

まず、絵のまわりに、絵から読み取ったことや感じたことを、たくさん書きましょう。次に、それらを基にして、解説文を書きましょう。

動物がいるし、服装からして、場所は外国かな。

食べ物の、お金か、あまりない、貧しい時代、場所、気候かな。

3人のおばあさんの服装が似ている。(ぼろい、フロンテス、エプロンなど)

落穂がもたないと思いき、拾って、食べるんだと思う。

落穂を拾って、ぼろぼうのように感じる。

拾って、こしらえたきょう。

苦しう・しんどそう

どんよりした空の下、3人のおばあさんがこしをまけて落穂を拾っている。櫛歯を使わず、手作業でよいよ、よいよ、と大変そう。どうして、わざわざ農場まで落穂を拾いに行くのだろう。まず、3人の服装に注目して見てほしい。なんだか古くてぼろぼうに感じられたいだろう。パンが手に入らない、苦しうで、しんどそう。まわりも花や家、建物が見えない、暗い雰囲気だ。たまたま、かんだか見えている私たちまで、さびしい気持ちになさる。

この農婦たちは、食べる物や、お金、があまりない貧しい人たちに、にちがいない。そして、もたないと思いき、拾って、こしらえるのかもしれない。拾った、たくさんの落穂は、どうするのだろうか。それを、売って、少しでもお金にするのか。それとも、食料にして、食べ物を増やすのだろうか。

絵をかいた人は、貧しい農婦のことを考えてかいたと私は思う。場所は、野生の動物や服装を見てみると、外国と読み取れる。たとえば、日本は、なくて、外国でも、この世界で、苦しい、くらしの毎日を送っている人たちがいる。というのを絵に描かれ、私たちに伝えてくれているような、そんな絵だ。と、とても、すばらしい。

この絵には、いろいろな見方があり、人それぞれだ。自分の見方を探してみよう。おもしろいかもしれない。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【箕面市立止々呂美小学校】

活用シート名	③よりよい文章に推敲しよう			基になった活用シート名	書16 よりよい文章に「推敲」しよう
学年	小学校6年	教科	国語	時期	5月
活用場面	授業			配当時間	30分
目標	文章を見直してよりよい文章にすることができる。				

活用シート

工夫した点

- 同じ内容を繰り返して文章に書くことが少なくなった。
- 文章を長く続けて書いている児童が多かったが、短く区切ることができるようになった。
- 文が長くなった時に、主語と述語のつながりを意識して書けるようになった。

工夫した点

- 特に文の区切りや主語と述語につながりがあるかを中心に指導を行った。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

ことばのちから指導前(4月末随筆)

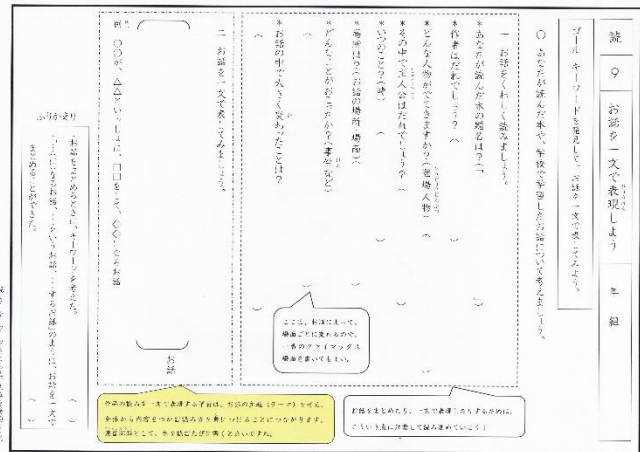
私は年長のころからかきかたを
書いています。かきかたはかきかた用
のプリントに字をきれいにかくところ
す。ほかにもしじやペンしじやでも
あります。なせかきかたを始めたか
らと、かきかたです。かきかたはえんびつ
てかきかた用のプリントにきれいに字を
かいたり、筆でしじ用のプリント
にきれいな字で大きな文字をかいた
りペンしじや筆ペンでプリント
にきれいに文字をかいたりします。
これからかきかたでできるよ
うにしたい。これは字がもつときれいか
けるよ。なること、右手でも
と、しじやでもえんびつでも筆ペ
ンでもペンしじやでもえんびつでも
がきれいにかけるよ。なること
です。これからもかきかたをかん
ばっていきたいと思います。

ことばのちから指導後(6月末投書)

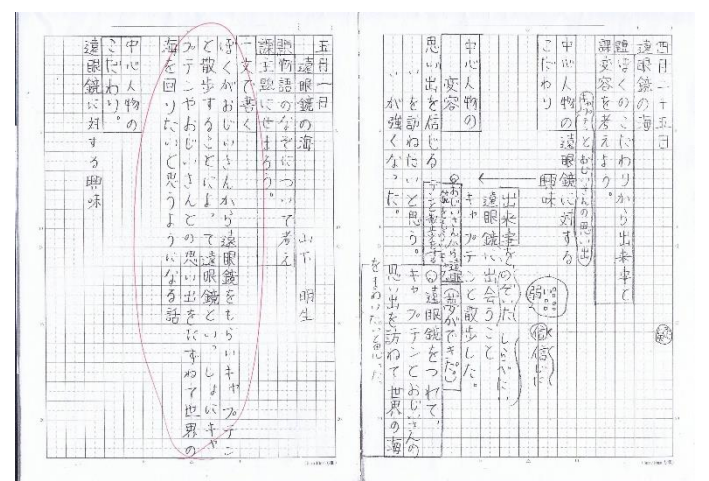
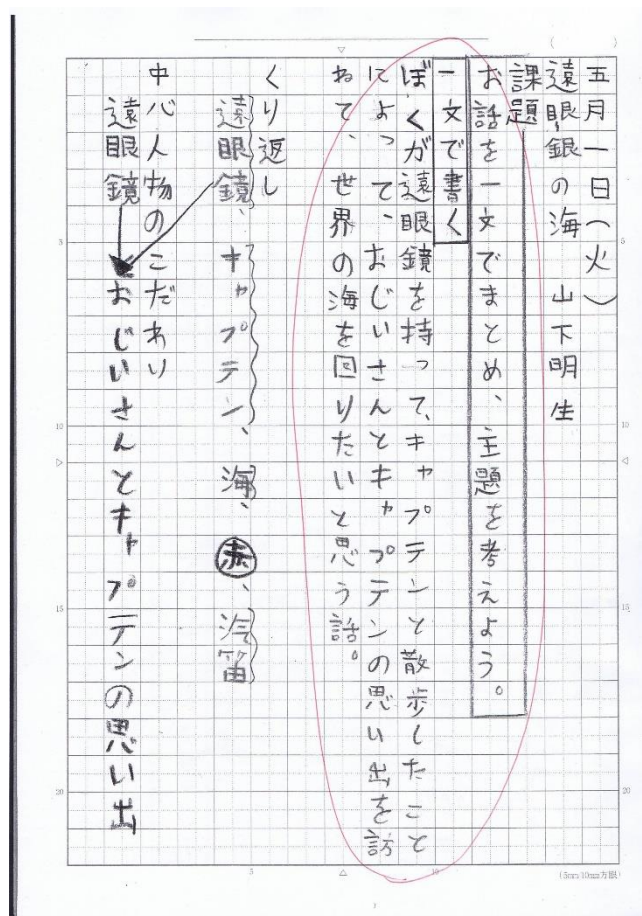
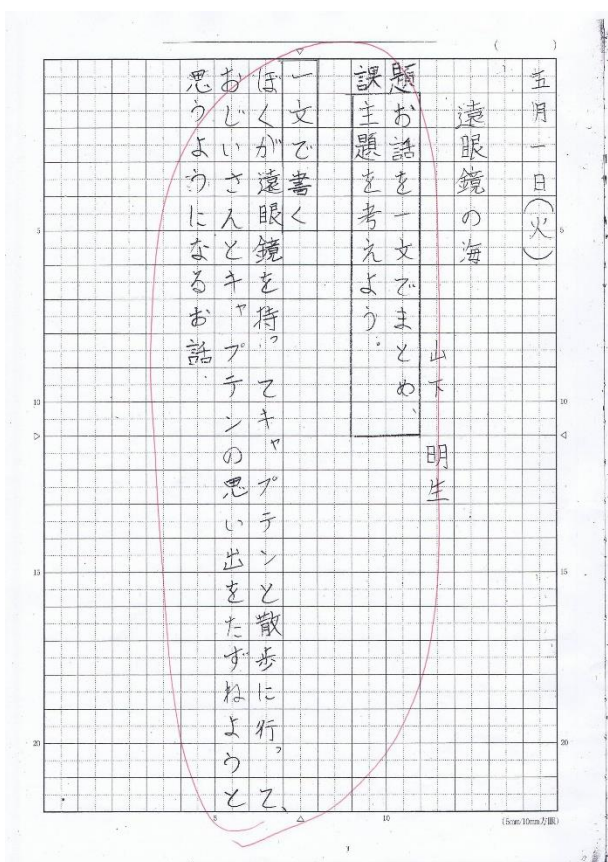
○私は教科書の投書を読んでスポー
ツは楽しんでやるが限界までやるか
について考えました。
○私はスポーツは楽しんでやります。
○二つの理由は楽しんでスポーツを
すると健康な体や心を保つことが
できるからです。限界までやると体を
こわしてしまつてスポーツをする意味が
なくなるからです。
○二つの理由は楽しんでやると友
だちとスポーツをやるときに前より
もと仲良くできるからです。限界まで
やるとスポーツをやるときに友だちと
けんかをして仲が悪くなるかもし
ないからです。
○このように、スポーツをするときは友
だちなど仲良くしながら健康な体
や心を保つことが大切だと思います。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【能勢町立能勢小学校】

活用シート名	④お話を一文でまとめ、主題を考えよう。			基になった活用シート名	読9 お話を一文で表現しよう
学年	小学校6年	教科	国語	時期	5月
活用場面	授業（展開）			配当時間	45分
目標	これまでの学習をふまえて物語を一文で書く。				
活用シート 工夫した点	 <ul style="list-style-type: none"> ●国語『遠眼鏡の海』の要約として、このワークシートをもとに一文にまとめるよう指示した。 ●「中心人物が出来事によって変容する話」という形で書くとまとめやすいことを伝えた。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●『ことばの力』ワークシートを参考にし、アレンジして授業で活用したので、投げ込み的な教材にならずに授業の流れの中で実施できた。 ●文型を指定することで、苦手な児童が取り組みやすくなった。 ●単元の1時間目の一文でのまとめと、本時でのまとめの一文を比較できるとより学習が深まったように思う。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

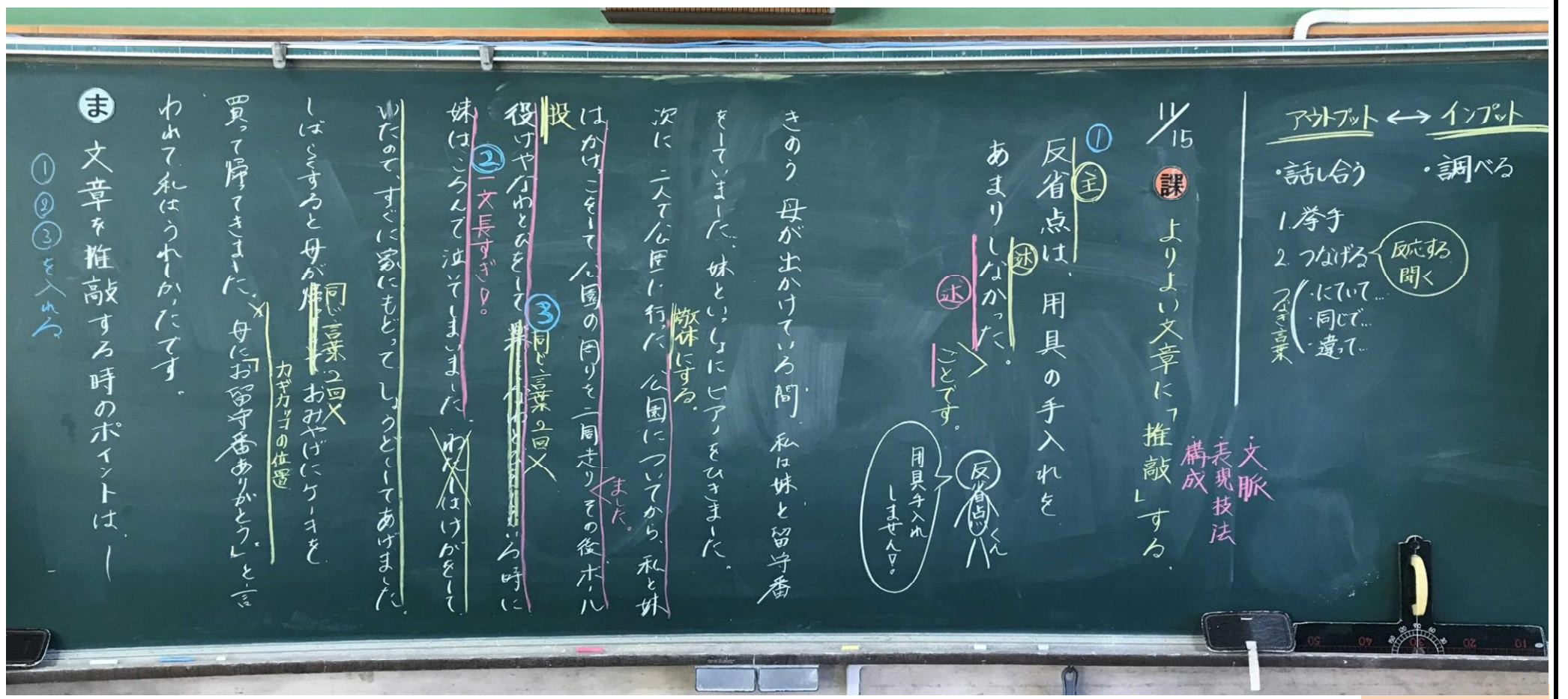


「ことばのちから」活用シート 活用事例

【守口市立さくら小学校】

活用シート名	⑤よりよい文章に「推敲」しよう			基になった活用シート名	書16 よりよい文章に「推敲」しよう
学年	小学校6年	教科	国語	時期	11月
活用場面	授業（書くこと）			配当時間	45分
目標	文章を読んで、より良いものになるよう、読み返して書き直そう。				
活用シート	毎週末に作文の宿題を出し、「双括型」「比喩」「体言止め」など、様々な条件を意識して書けるように指導している。そのため、構成や表現技法は少しずつ身に付いてきた。しかし、一文が長くなったり、主語・述語の関係が正しくなかったり、一文を適切に表現できていない子はまだまだ多い。				
工夫した点	今回のシートを活用し、今まで学習していた「構成」「表現技法」に加えて、「文脈」という新たな観点・用語を指導し、文章を書く時の3つのポイントとして、いつも意識していくように指導をした。				
成果や改善点	<p>◎「文脈」と用語化して指導することで、子ども達を書く時に意識しやすくなった。</p> <p>「主語と述語の関係を意識しましょう。」「一文を短くしましょう。」と指導をしても、次に文章を書く時には忘れてしまっている。書くポイントとして、「構成」「表現技法」「文脈」の3つを常に意識するように指導をすることで、定着率がよくなったように感じる。</p> <p>●一文の長さとはとにかく短くすればよいわけではなく、適切な長さにする必要がある。また、句点の位置も、すべての文節の切れ目で打てばよいわけではなく、適切な位置で打つ必要がある。この「適切な」ということが子どもにとっては難しく、もっと明示的に指導する方法はないか検討する必要がある。</p>				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

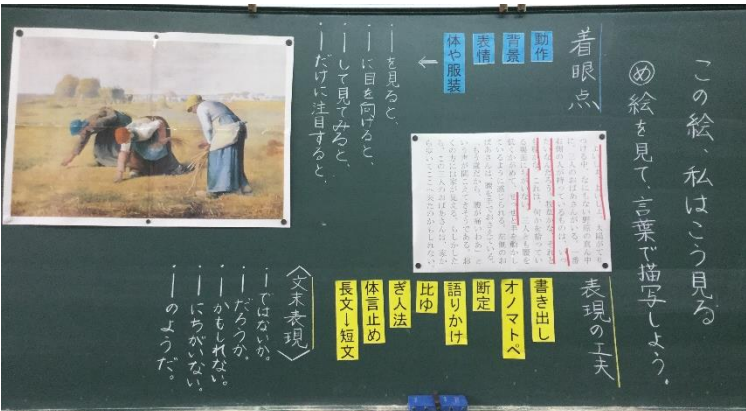


「ことばのちから」活用シート 活用事例

【門真市立東小学校】

活用シート名	⑥描写名人になろう			基になった活用シート名	書 14① 描写名人になろう
学 年	小学校 6 年	教 科	国語	時 期	11 月
活用場面	授業（展開）			配当時間	2 時間
目 標	絵の様子を描写する。				
活用シート 工夫した点	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>ワークシートには、絵の描写を練習するための縦線が並び、左側に「ふりかえり」の欄と「工夫した点」の欄があります。また、右側に「書 14① 描写名人になろう」というタイトルと「年 組」の欄があります。</p> </div> <div style="width: 50%;"> <ul style="list-style-type: none"> ●どのようなところに着目すれば詳しく説明できるのかを確認するために、事前にちがう絵を使って練習をした。（二人ペアになり、Aだけが見た絵をBに言葉で伝え、Bは聞いた通りに絵を描く。） ●説明文で学習してきた「表現の工夫」も活用できるよう、確認した。 ●配布したワークシートの絵が白黒なので、カラーで大きく印刷した絵を黒板に掲示した。 </div> </div>				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●普段の作文ではなかなか言葉を思いつかない子ども、人物の動作や景色などから読み取ったことを言葉で表現することができた。 ●「落穂ひろい」では人物の表情に着目することが難しいので、今度は表情を描写できる絵でもやってみたい。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）



黒板には絵の描写ポイントがまとめられており、「着視点」「表現の工夫」などの項目が示されています。また、絵の描写例も記載されています。

まが大きな野原のまんなかで3人のおばあさんが何れ作業をしている。草をむし、ているのたろうか。それとも稲を拾、ているのたろうか。定まらぬ。見ると、夕暮しの時のような空をしている。もしかしたら作業をおえると奥に見える家に帰、このくのかもしれない家があんなに遠くに見えるのだから、この野原はとても大きいのだらう。

くもり空の下、少し町を出た所に
ある野原の真ん中に三人のばあ
さんがある。黄色のぼうしのばあ
さんに目を向けると、何やら稲を持、て
いるではないか。残りのばあさんも
稲をぬいでいる。これはきと、三人
のばあさんが稲かりをしているに
ちがいない。三人とも汗を流しな
がらけんめいに稲かりをしている
ように感じられる。おくには町が
広がっている。三人はこんなとあく
までなぜ稲かりをしにきたのだら
うか。これには意味があるのかも
しれない。

ようございせ、3人のお姉さんが、
牧草を積んでいる。おくの方
では、牧草を運ぶ牛がいる。
この牛は、他の牛の食糧を物を
運んでくれるのだらう。牛の
ために作られたこの畑は、
ずらとおくまで広がって、
いる。この町は、たくさん牛の
を飼っているにちがいない。
でもこの絵の右おくの方に
馬の次牛もある。もしかした
らこの牧草は、馬のエサな
のかもかもしれない。同じく
右おくの方、建物がある。
私はこの建物物は牛小屋や
馬小屋なのではないか、と
うかんじた。

ここにまだ残っているよ。青い
帽子をかぶった主婦が赤い帽
子をかぶった主婦にまだわら
わらした麦が残っていると教
えている。左奥に山のような
ものが出来ているが、それ
は主婦たちがせせと汗
をかいて働いたしょうこた
らう。もっと主婦たちは生
活のためにと、おとなりの
家が麦を収穫したあと
の残りをしっかりと見分
けているのだらう。
それをすると見えている
太陽が、主婦たちの体を
焼きつけているようだ。
しかし、主婦は負けていな
い。黄色い帽子をかぶった
主婦は、しっかりと見分
けているのだらう。
主婦はしっかりと見分
けているのだらう。
主婦はしっかりと見分
けているのだらう。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【門真市立北巣本小学校】

活用シート名	⑦将来の夢			基になった活用シート名	書12① 将来の夢
学 年	小学校6年	教 科	総合	時 期	11月
活用場面	授業			配当時間	45分
目 標	自分の意見を、理由や具体例をあげながら、読み手に分かりやすいように工夫して書こう。				
活用シート ・ 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●卒業式や卒業文集にも生かせるように、設定した。 ●事前に、自分の将来の夢について書くことを予告していた。 ●事前に、いろんな職業について、調べる時間を作った。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の構成について考えることができた。 ●将来の夢について、具体的に詳しく考えることができた。 				
子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等） <ul style="list-style-type: none"> ●「将来の夢について真剣に考えることができた。今、できることをがんばっていこうと思う。」 ●「友達の将来の夢を読んで、理由がわかりやすく書けていたので、自分もしっかりと考えようと思った。」 ●「理由を考えるのが難しかった。でも理由を書くと、説得力が出ると分かった。これからの文章の書き方に役立った。」 					

[目次へ戻る](#)

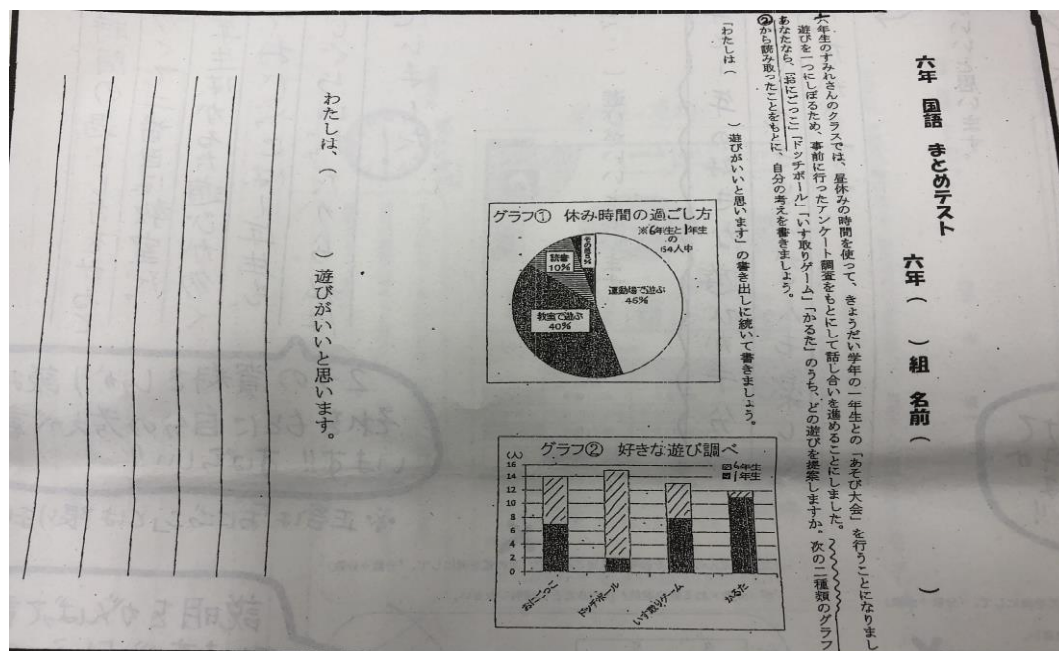
「ことばのちから」活用シート 活用事例

【東大阪市立弥刀小学校】

活用シート名	⑧データにもとづいて			基になった活用シート名	書13 データにもとづいて
学年	小学校6年	教科	国語	時期	7月
活用場面	(学期末)まとめテスト			配当時間	20分
目標	「複数の資料から読み取ったことをもとに自分の考えを書く」ができているかどうか見取る。				
活用シート	<ul style="list-style-type: none"> ●校内研究テーマと関わって、自分の意見を資料を書くことができているか見取る問題として使用 ●校内分析で明らかになった課題「複数の資料を読み取って自分の考えを書く」ができているか見取るために使用 ●子どもたちの解答を、学校全体(全員)で採点→正答・誤答だけでなく、どこまで書くことができているか、どこでつまづいているのか分析 ●明らかになった成果と課題を意識しながら取り組みにつなげる。 ●結果を「学力向上だより」で保護者に伝えるとともに、家庭学習でしてほしいことなどを伝える。 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●一つの資料を読み取ることはできるが、2つめを自分の考えに反映させることができているか見取れない。 ●順序よく書くことに課題がある児童もいた。→さらにことばのカプリント活用 ●相手を意識して表現する書き方 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを正確に伝える ・相手に分かりやすく論理的に説明する。 				

子どもの様子(発言、ノート、板書、解答例、写真等)

6年生(学期末)まとめテスト



正答例・誤答例を「学力向上通信」にあげて、家庭学習の協力も各家庭にお願いをしました。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【松原市立天美小学校】

活用シート名	⑨スカイツリーの高さは？		基になった活用シート名	書10 買いたくなる広告を作ろう！	
学年	小学校6年	教科	算数	時期	10月
活用場面	拡大と縮小 授業（展開）		配当時間	30分	

目標

- スカイツリーの縮図から、実際の高さを求める方法を考え、広告の中で分かりやすく伝える。
- 友達が作成した広告から、相手にわかりやすく伝えるための工夫を見つける。

活用シート

工夫した点

・スカイツリーの広告を作るために縮図から高さを計算し、自分の考えを広告という形で表現できるように工夫した。

・国語の授業の中で活用したプリントをアレンジして、算数でも活用するようにし、教科を超えて表現することができるように工夫した。

成果や改善点

- 国語で活用したプリントなので、子ども達は算数でも書くことに抵抗なく、活動できていた。
- 国語の授業では自分が工夫して書いたことを書いたが、算数では友達のわかりやすく伝えるための工夫を探して書くという活動をし、相互評価できるようにした。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

国語での活用

算数での活用

国語での活用

算数での活用

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【羽曳野市立白鳥小学校】

活用シート名	⑩図と表を関係付けて読もう			基になった活用シート名	読14 図と表を関係付けて読もう
学年	小学校6年	教科	国語	時期	10月
活用場面	授業			配当時間	45分

目標 文章と図表などを結び付けて必要な情報を見つけ、読みとる。

活用シート

・

工夫した点

島名	島の特徴	島名	島の特徴
あまの島	小さい子ども向けの遊び場です。小島を泳ぎ上は遊べません。	D	D
あまの島	海が深いです。魚釣りが楽しめます。	X	X
あまの島	島の名産品があります。観光客が楽しめます。	D	D
あまの島	見物スポットがあります。島全体を一周する遊歩道があります。	D	D
あまの島	美しい自然があります。夏には、泳ぎが楽しめます。	D	X

- 最後に選択した理由を書く枠を設けた。
- 「練習プリント」としてやらせるだけでなく、選択した理由を発表させ、きちんと振り返った。
- この活用シートで練習をしたあと、修学旅行のグループ活動の計画を立てさせた。

成果や改善点

- 今回の活動では、グループ活動の計画も行先のパンフレット等の資料をそのまま使用して考えさせた。そのことで、教師の側から逐一子どもに指示しなくても、自分たちで計画を立てることができた。
- 同様に、「みんな遊び」等、学級での活動を計画する際も、自分たちの希望を整理し、それに見合った活動を計画できるような話し合いができるようになった。
- 「読む」力だけでなく、「話す、聞く」力についても成果があったと思われる。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

- 「活用シート」自体の正答率は非常に高く、理由もしっかりと書くことができていた。
- 「活用シート」をしている間はそのような発言は特に見られなかったが、グループ活動計画時にグループのメンバーの希望をしっかりと聞いて表にしてまとめているグループが見受けられた。
- グループ全員の希望を聞きながら計画を立てる活動では、それぞれの折り合いをつけるのがなかなか大変だったようで、お互いに「同じだけの我慢」を考えて計画を立てていた。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【太子町立磯長小学校】

活用シート名	⑪プレゼンテーションをしよう			基になった活用シート名	書15 プレゼンテーションをしよう
学年	小学校6年	教科	国語	時期	11月
活用場面	授業			配当時間	1

目標 提示資料を工夫してプレゼンテーションをしよう。

活用シート
・
工夫した点

- 国語の「町の幸福論」プレゼンテーションの授業に向けて活用した。
- 文章の読み取りが苦手な児童のために、文章を一斉読みをし、問題に取り組んだ。

成果や改善点

- 「あれ」「それ」「これ」などの指示語を理解していない児童が多かった。
→町の幸福論の授業時に、指示語にも焦点を当てて学習していく。
- 資料の出す場面の間違が多かった。
→資料の出し方について学習し、自分たちが発表できるようにしていく。
- プレゼンテーションする立場で文章が読めておらず、関連性のみで判断した誤答が多かった。

あるクラスの場合（30人）

図①の正答率…90% 図②の正答率…76.7%

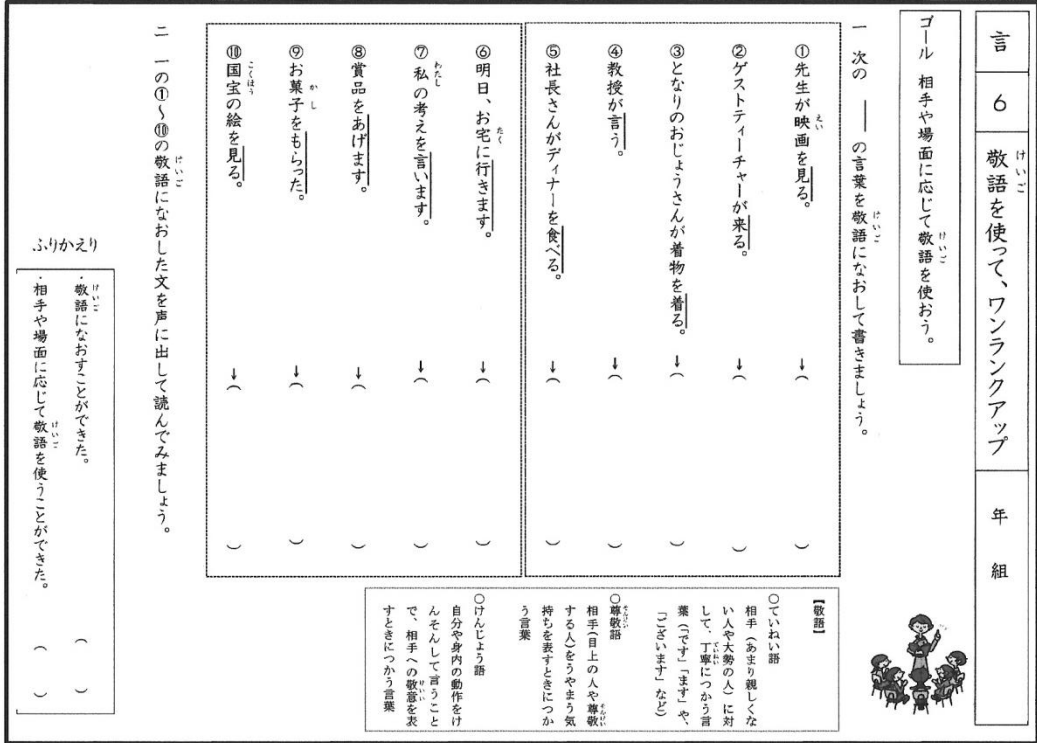
図③の正答率…46.7% <誤答中 エ（関連性のある段落）を選んだ率…87.5%>

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

エを選んだ児童が多く、図③示す場面を理解していない。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【千早赤阪村立赤阪小学校】

活用シート名	⑫敬語を使って、ワンランクアップ			基になった活用シート名	言6 敬語を使って、ワンランクアップ
学年	小学校6年	教科	国語	時期	11月
活用場面	国語の授業			配当時間	15分
目標	相手や場面を意識して、正しい敬語を使おう。				
活用シート 工夫した点	 <p>◎教科書の内容を学習した後で、確認のために使用。 ◎このプリントの前に、具体的な敬語をまとめたプリントも使った。</p>				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> 5年生で敬語について学習しているが、まだまだ定着していない。プリントを使用することで、5年時に学習したことも振り返りながら学習を進めることができた。 敬語の中でも謙譲語は、相手への敬意を表すために自分や身内の動作を謙遜することが文からつかめない児童が多く、短時間でもプリントなどで繰り返し学習を積み重ねていく必要があると感じた。 				
子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等） <ul style="list-style-type: none"> 尊敬語はだいぶ分かってきた。 謙譲語は難しい。つい、尊敬語を使ってしまう。 					

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【泉大津市立戎小学校】

活用シート名	⑬今日学んだこと、教えるよ！			基になった活用シート名	書7 今日学んだこと、教えるよ！
学年	小学校6年	教科	算数	時期	10月
単元	拡大図と縮図	活用場面	授業（まとめ）	配当時間	20分
目標	図形を拡大したり、縮小したりする方法を考え、説明することができる。				

活用シート		<ul style="list-style-type: none"> ・作図の方法を理解するだけでなく、自分の学んだ知識を順序立てて説明することにより、より確かな知識となるよう取り組ませた。そのため活用シート内のゴールを、つなぎ言葉を重視することより、学んだ内容を友だちにわかりやすく発表するための文章づくりに重きを置くよう変更した。 ・「はじめ」「なか」「おわり」の段落を意識し、よりよく伝わる方法を意識させた。 ・作図のすべての条件を正確にかかないと、少しのずれが正確な図より大きく変わるなど、自分自身が体得した気づきを評価するようにした。
工夫した点		

成果や改善点

- ・与えられた条件を利用し正確な図形をかくという方法を、作図作業をして覚えただけでなく、文章化して発表することにより、より理解が深められた。
- ・図形の単元で本教材を利用した。言葉だけでは伝えにくいこともあり、図をかくスペースを設けてもよかった。図のスペースは大きすぎると言葉の表現が少なくなるので、スペースの大きさも検討したい。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【泉大津市立条東小学校】

活用シート名	⑭ 今日学んだことを教えるよ			基になった活用シート名	書7 今日学んだこと、教えるよ！
学年	小学校6年	教科	各教科	時期	2学期
単元		活用場面	授業（まとめ）	配当時間	10分

目標 効果的な構成（始め・中・終わり）や段落を工夫したり、接続詞を意識して書く

活用シート

工夫した点

成果や改善点

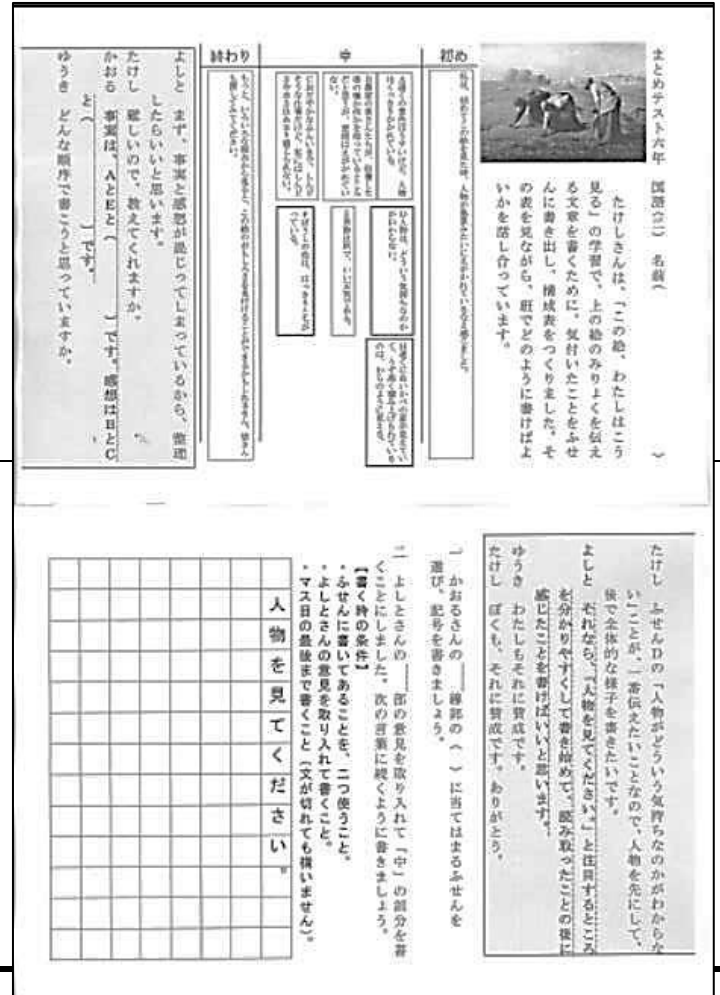
- ・授業でのふりかえりや、1日の最後のふりかえりの場面で継続的に活用した。
- ・活用シートがあることで、児童は少しずつ構成や接続語を意識した文章を書けるようになってきた。教科でのふりかえりだけでなく行事や特活でのふりかえりにも活用することで、様々な活動での学びを児童が自らふりかえる機会にもなった。
- ・どうしても書けない子への支援として、効果的な評価や共有の方法を研究していきたい。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【泉大津市立条南小学校】

活用シート名	⑮この絵、わたしはこう見る			基になった活用シート名	書く14① 描写名人になろう
学年	小学校6年	教科	国語	時期	11月
活用場面	まとめテスト			配当時間	30分
目標	絵から読み取ったことと感じたことを区別して書くことができる。				
活用シート	<ul style="list-style-type: none"> ●国語の教科書に「この絵、わたしはこう見る」という単元があり、そこでの学習の評価問題として、このシートを活用した。 ●「書くこと」の学習内容であり、単に書くだけではなく、「付箋で整理する」（情報の分類や関係付け）、「話し合う」（対話的な学び）の例を示すことで、指導者が授業をする際にもそのような活動を意識できるようにした。 				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●「事実を挙げること」「事実をもとに考えを述べること」などを意識した指導につながった。 ●何が「読み取ったこと」にあたり、何が「感じたこと」にあたるのかが、明確に区別することが難しい。付箋で示した例文をもう少し簡易なものにしたら、より取り組みやすいと考えられる。 				



子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

と	の	う	る	人	遠
い	絵	て	し	の	物
う	は	い	の	か	が
思	人	ま	色	わ	く
い	物	す	は	か	っ
か	を	り	き	は	て
こ	よ	こ	は	ま	り
め	く	の	っ	す	え
う	見	こ	き	か	い
れ	て	と	り	そ	か
て	ほ	か	と	し	れ
い	し	ら	ち	て	て
る	い	こ	が	ほ	い

エ	と	物	う	し	か	人	し	
天	人	が	す	の	り	物	の	人
さ	物	め	い	色	ま	は	は	物
れ	の	い	色	は	す	は	は	を
て	こ	ん	で	か	っ	み	見	て
い	と	な	分	み	き	な	ち	く
る	が	の	か	な	な	り	ち	だ
と	見	て	い	な	え	っ	さ	い
思	え	て	い	な	え	っ	さ	い
い	る	は	い	色	ら	る	て	い
ま	よ	っ	て	と	の	い		
し	う	き	っ	少	ぼ	が	て	ぼ
た	に	り	人	し	う	分	う	

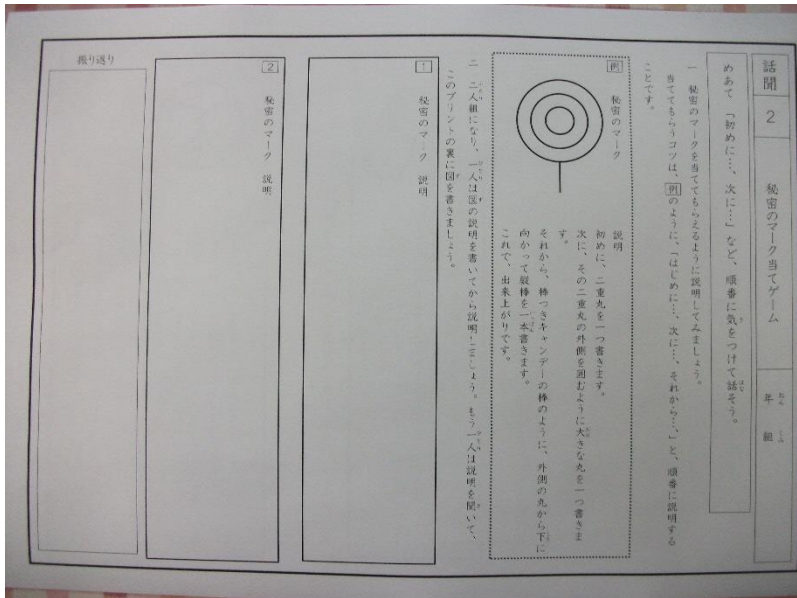
二 よしとさんの…… 師の意見を取り入れて「中」の部分を書くことにしました。次の言葉に続くように書きましょう。

【書く時の条件】

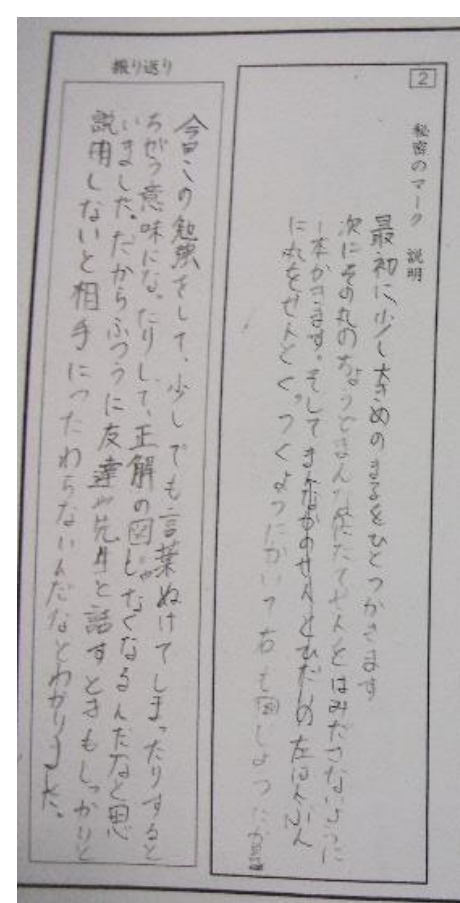
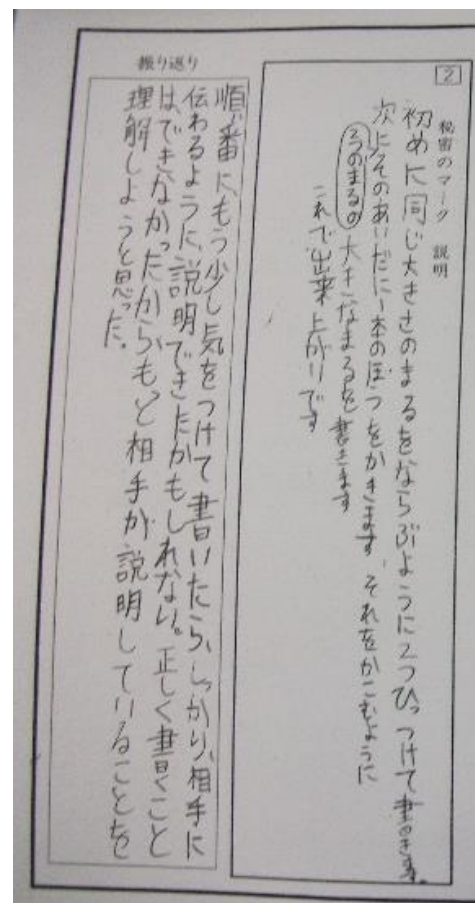
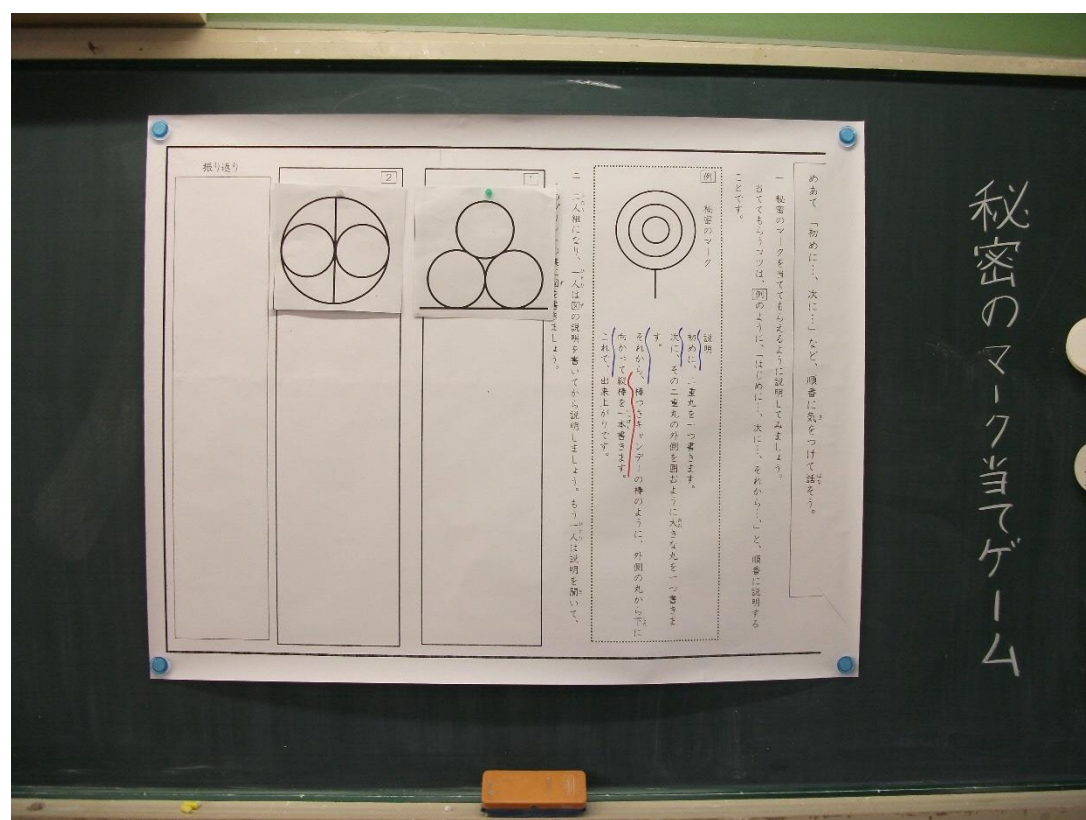
- ・ふせんに書いてあることを、二つ使うこと。
- ・よしとさんの意見を取り入れて書くこと。
- ・マス目の最後まで書くこと（文が切れても構いません）。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【和泉市立北池田小学校】

活用シート名	⑩秘密のマーク当てゲーム			基になった活用シート名	話間2 ひみつのマークあてゲーム
学年	小学校6年	教科	国語	時期	9月
活用場面	朝の時間			配当時間	20分
目標	「初めに・・・、次に・・・」など、順番に気をつけて話す。				
活用シート 工夫した点				<ul style="list-style-type: none"> ●習っている漢字にシートを作り直した。 ●振り返りをたくさん書けるようにスペースを大きくした。 	
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●マークを言葉で伝える担当は、ペアの相手にどう言えば伝わるかを考えて説明したり、マークをかく担当は、説明される言葉をイメージしてマークをかいたりすることができた。 ●うまく表現できない、かくことができないペアもいたが、伝えることや聞いてイメージすることの難しさに気づくことができたので、このような取り組みを行っていくようにする。 				

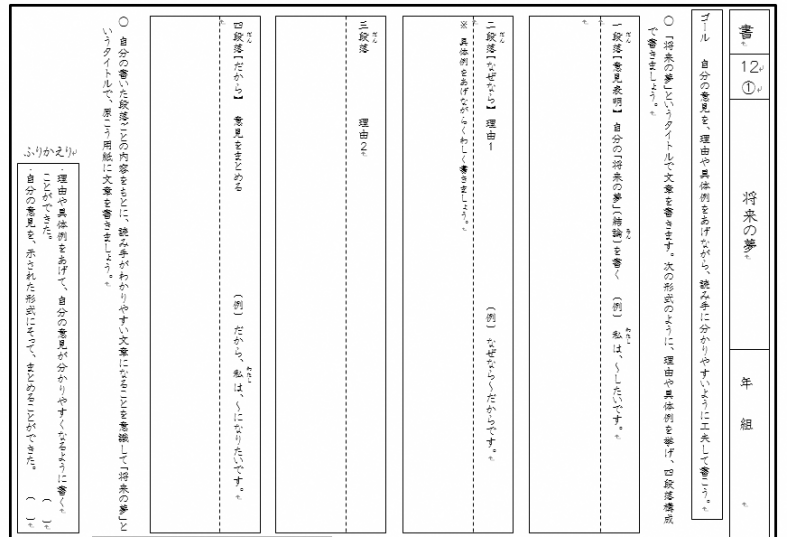
子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



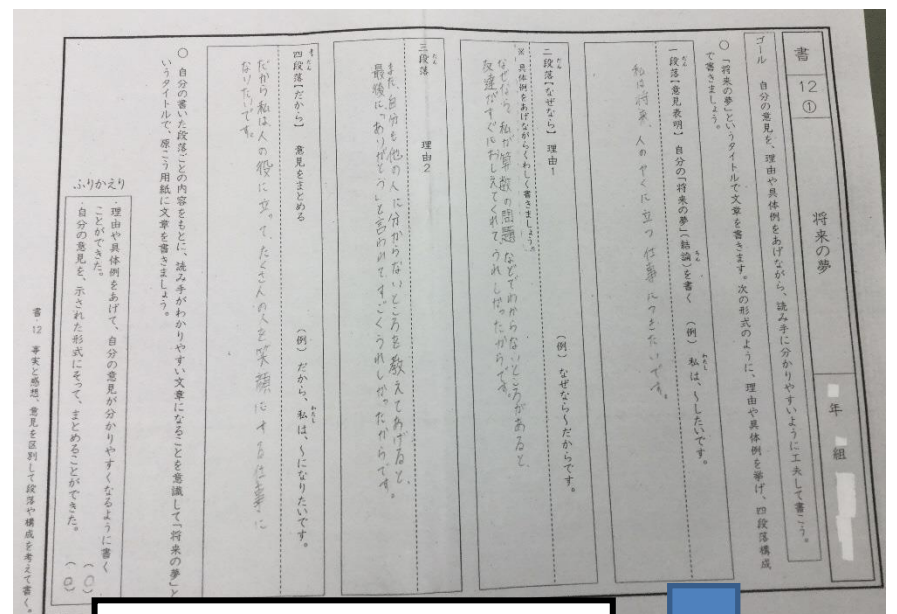
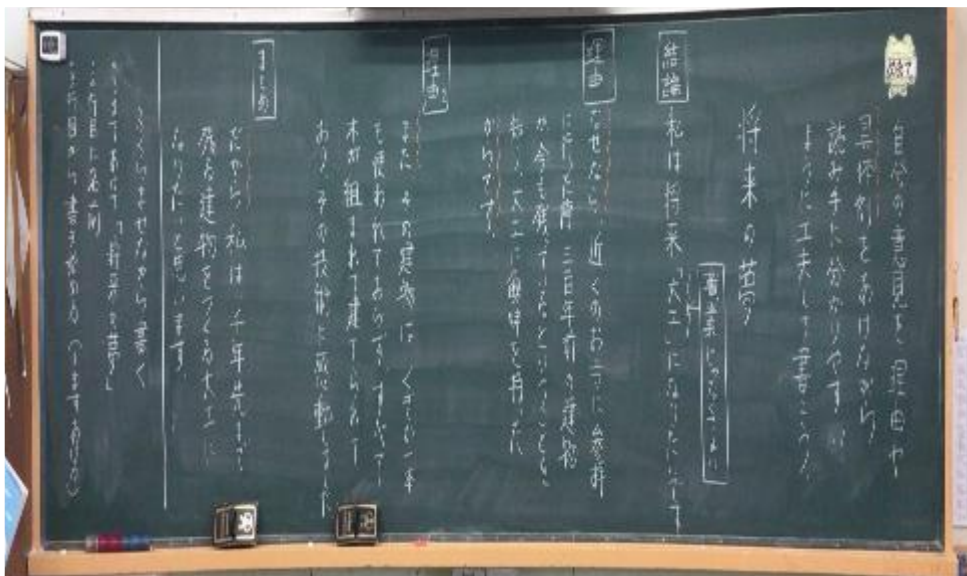
「ことばのちから」活用シート 活用事例

【高石市立東羽衣小学校】

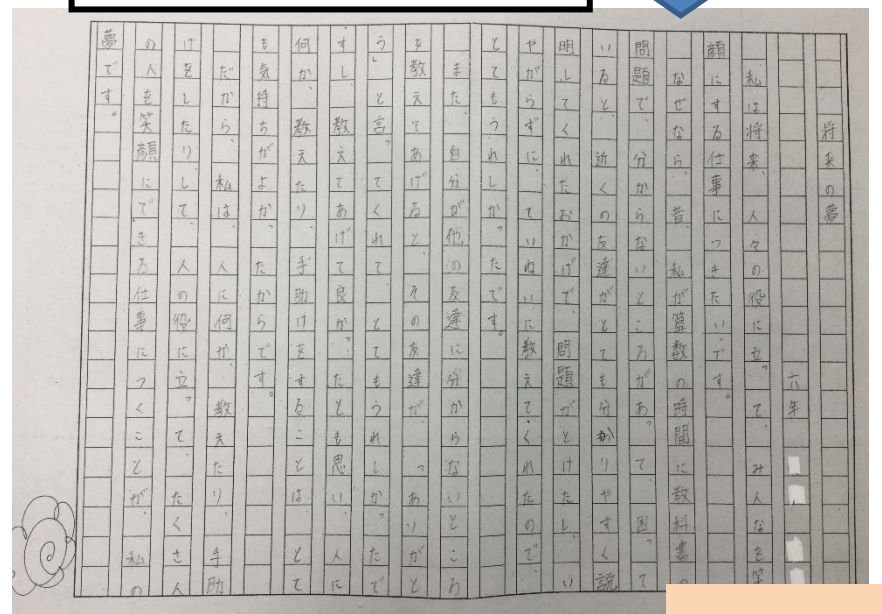
活用シート名	⑰将来の夢			基になった活用シート名	書12① 将来の夢
学年	小学校6年	教科	国語	時期	11月下旬
活用場面	卒業文集をかくための導入として			配当時間	45分
目標	自分の意見を、理由や具体例をあげながら、読み手にわかりやすいように工夫して書く。				
活用シート 工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●3学期に卒業文集を書くので、その導入として「将来の夢」のシートを活用した。 ●例を挙げるときに、ことばのちからの解答例を教師が黒板に段階ごとに示した。(一気にワークシートに書かせるのではなく、児童の進み具合に応じて、①～④を細かく解説し、ワークシートが全員記入できるように支援した。) 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●3学期に卒業文集を書くので、その導入として「将来の夢」のシートを活用して、児童にどのように書いたらよいかイメージを持たせることができた。 ●今までの児童の作文の書き方は、「わたしは、〇〇です。その理由は、〇つあります。ひとつめは、〇です。ふたつめは、〇です。・・・」という形式ばかり書いていた。しかし、ワークシートに記入することにより、「意思表示」「なぜなら」「また」「だから」という形式立てて書くことができ、読み手に、分かりやすく自分の考えを伝えることができると実感できた。 				



子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



ワークシートから、原稿用紙に記入



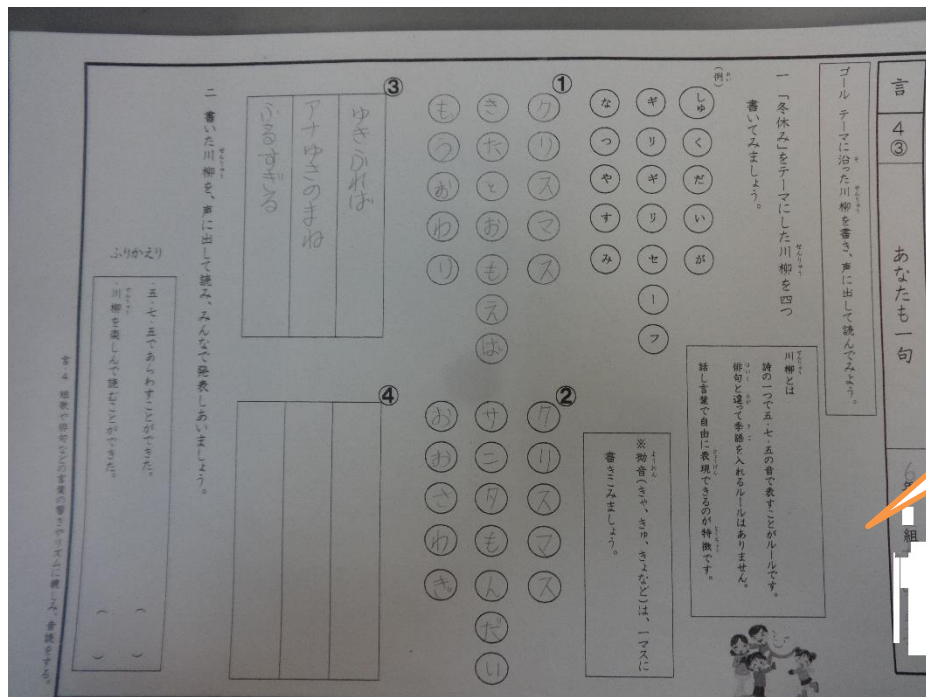
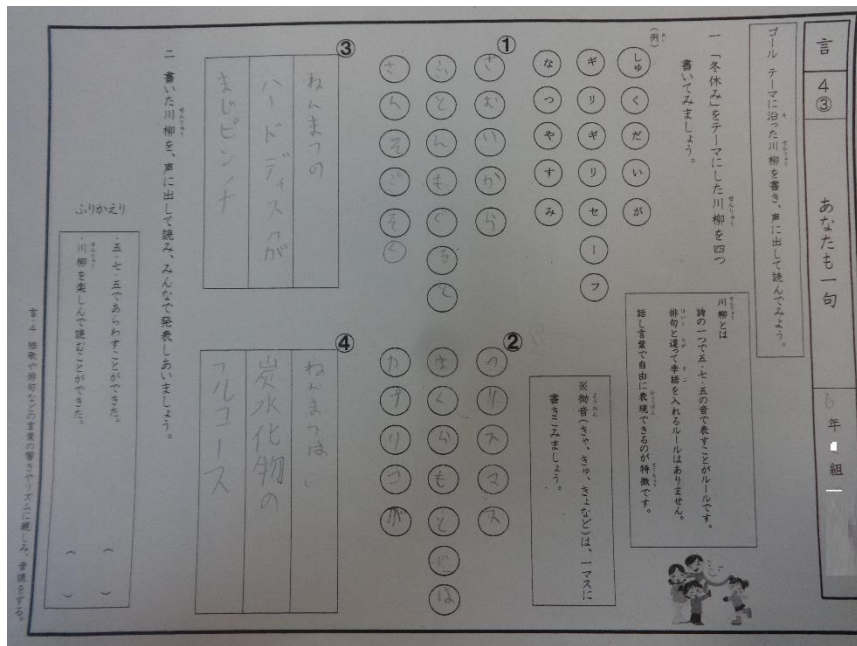
- 職業に限らず、自分がどんな大人になりたいかを書きたいという児童もあり、意欲的に取り組んでいた。
- ワークシートから原稿用紙に記入するとき、指導者から「原稿用紙に書く時に、自問自答しながら言葉を補って書くと書きやすいし、文章量が増える」という声かけに、児童は「私は、〇〇になりたいです。だけでは、わかりにくいから、『いつ』、『どこで』、『どんな』とか書いた方がわかりやすいな」等の発言もでており、ワークシートから原稿用紙に書くことの抵抗感を感じる児童は、少なかった。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【岸和田市立克明小学校】

活用シート名	⑱あなたも一句			基になった活用シート名	言語4③ あなたも一句
学年	小学校6年	教科	国語	時期	12月
活用場面	国語の自習時の課題として			配当時間	1時間
目標	テーマ（冬休み）に沿った川柳を書き、声に出して読む				
活用シート工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●五・七・五のリズムで文を作ることに慣れていたので俳句とは違い、言葉選びの自由度が高い川柳を作成させた。 ●小学生が作成した夏休みをテーマにした川柳を紹介し、川柳のイメージを持たせた。 ●発表することで、自分の考えを認められたり、共感してもらえたりすることでお互いの表現を認めあえる様にした。 				
成果や改善点	●川柳を作るのは初めてだったが、音のリズムに慣れていること、話し言葉など普段の言葉づかいで書けることを伝えると4つ作れる児童が多かった。				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



この児童の発表からサンタがいるかないかを五・七・五でお互いに考えを述べ合いました。プリントには書いていない即興で考えたものもたくさんでてきた。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

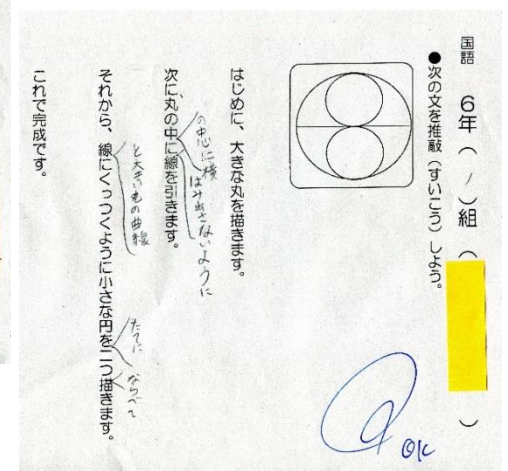
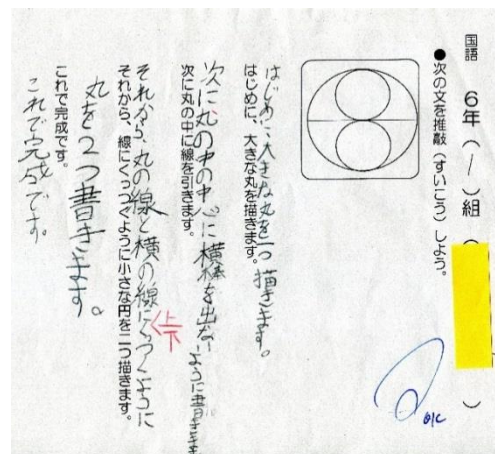
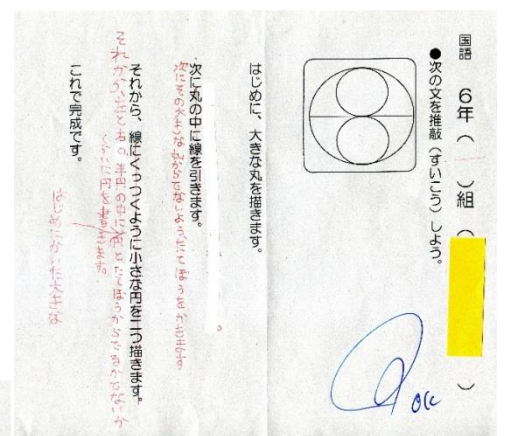
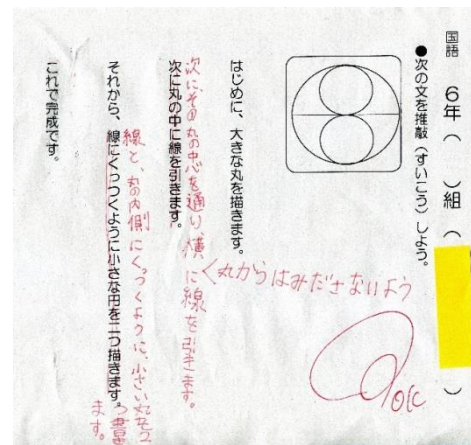
【泉佐野市立北中小学校】

活用シート名	⑱ひみつのマークあてゲーム			基になった活用シート名	話間2 ひみつのマークあてゲーム
学年	小学校6年	教科	国語	時期	11月
活用場面	授業（展開）			配当時間	45分
目標	説明のポイントに注意して文をつくる。 お話の要訳をして、できあがった文を推敲する。				
活用シート工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> ●【話間2】「ひみつのマークあてゲーム」 <ul style="list-style-type: none"> ①説明にあたり例をモデルに設問1を書く事で、説明のポイントを知る。 ②設問2を答えることで活用する。 ③設問2をもとにホワイトボードを使用し、友達の「ひみつの形」を推測し、描く。 ④説明された「ひみつの形」にならなかった理由を考え、意見を出し合う。 ⑤教師があらかじめ用意した例文を読み、推敲する。 				
成果や改善点	<p>成果 ●楽しみながら、目的を持って取り組む事ができた。</p> <p>●積極的に友だちにアドバイスしたり、例文を提示するなどを行っている児童も多くいた。</p> <p>課題 ●主語がはっきりしない文であったり、主語が途中で変わっている文が多い。しかしながら、推敲の場面でも思い込みで読んでいることも多くほとんど訂正されない。</p> <p>●句読点のつけ方が定着していない。一文が長い。句点がない。など</p> <p>改善点●引き続き取り組みを続ける事。</p> <p>アドバイス、添削などの活動では、具体的な訂正文を作成させる練習を数多くする必要がある。</p>				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

「ひみつのマークあてゲーム」

- 例文があることで、問題に取り組むことはできていた。
 - 「～のような形」など例文の工夫が取り入れられていない児童がいた。
 - 例文をもとに文を作成するが、句読点が抜ける児童も多くいた。
- 設問をきちんと読んでいなくて、題意に沿った形が描けていない。
- クイズ感覚で楽しく学習する事ができた。
- 「何がわかりにくいのか。」具体的に指摘し、改善案を出す事ができた。
 - ・「まず、線を引きます。では、縦線か横線かわからない。」
 - ・「どこから、どこまでや、長さを書いた方がいいのではないか。」
 - ・「丸の大きさも同じかどうかわからんから、書いたほうがいい。」
 - ・「丸より円の方がいいんちゃう。」
 - 「でも、問題に丸って書いてんで。」
- ④で学習したことをもとに問題点を考えて推敲する事ができた。
 - 自分がまちがえるポイントだけでなく、他の人がまちがえてしまうポイントも予測しながら文を推敲する事ができる児童も多くなった。



「ことばのちから」活用シート 活用事例

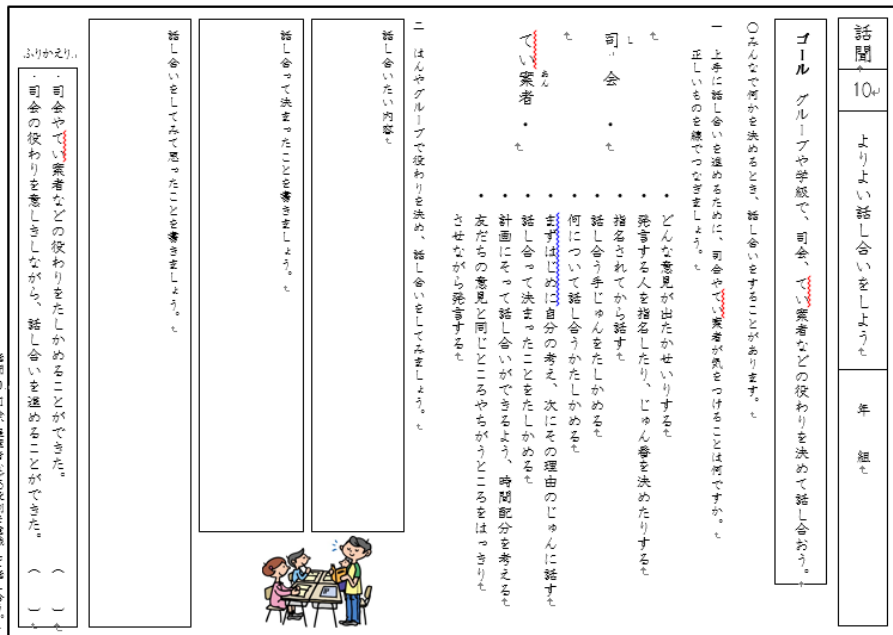
【大東市立北条小学校】

活用シート名	②⑩よりよい話し合いをしよう			基になった活用シート名	話間10よりよい話し合いをしよう
学年	小学校6年	教科	国語	時期	6月
活用場面	授業（導入）			配当時間	20分

目標 グループや学級の話し合いの役割を確認し、話し合いたい内容を考えることができる。

活用シート

工夫した点

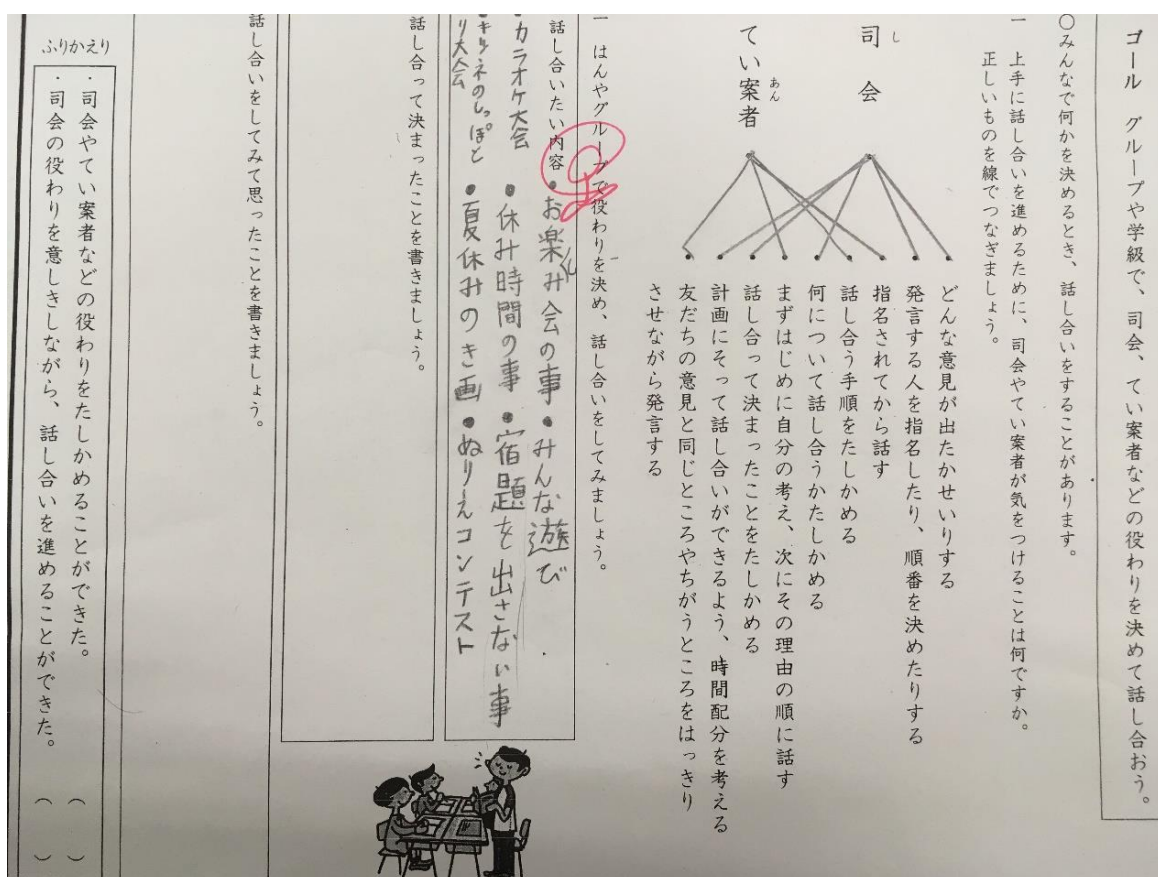


- ワークシートを目的に授業を展開するのではなく、国語の単元にそって、ワークシートを活用した。
- 子どもたちは、スムーズに授業に取り組むことができた。
- グループや学級での話し合いを行う前に、「司会」「てい案者」の役割を確認させた。
- 話し合い活動での自分の役割が明確になることで、活発に話し合う姿が見られた。

成果や改善点

- ワークシートを活用し、自分の言葉で書くことで、自信をもって発表することができた。
- 自分の役割を理解することで、グループでの話し合い活動はスムーズに、活発に行われた。
- その一方で、ペア・グループの交流は活発に行われたが、全体の発表としては、発表者に偏りが出てしまった。
- 今後も役割を変えて実施したり、振り返りを全体化して、より多くの児童が主体的に話し合い活動に参加できるようにしていく。

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



ふりかえり
司会やてい案者などの役わりをたしかめることができた。
司会の役わりを意識しながら、話し合いを進めることができた。

話し合いをしてみて思ったことを書きましょう。

話し合いたい内容
カラオケ大会
お祭りの事
みんな遊び
キッズのほと
夏休みのき画
ぬりもんコンテスト

話し合って決まったことを書きましょう。

てい案者
みんなの意見が出たかせいりする
発言する人を指名したり、順番を決めたりする
指名されてから話す
話し合う手順をたしかめる
何について話し合うかたしかめる
まずはじめに自分の考え、次にその理由の順に話す
話し合って決まったことをたしかめる
計画にそって話し合いができるよう、時間配分を考える
友だちの意見と同一ところやちがうところをはっきりさせながら発言する

司会
みんなが何を決めるか、話し合いを進めることがあります。
上手に話し合いを進めるために、司会やてい案者が決めることは何ですか。
正しいものを線でつなぎましょう。

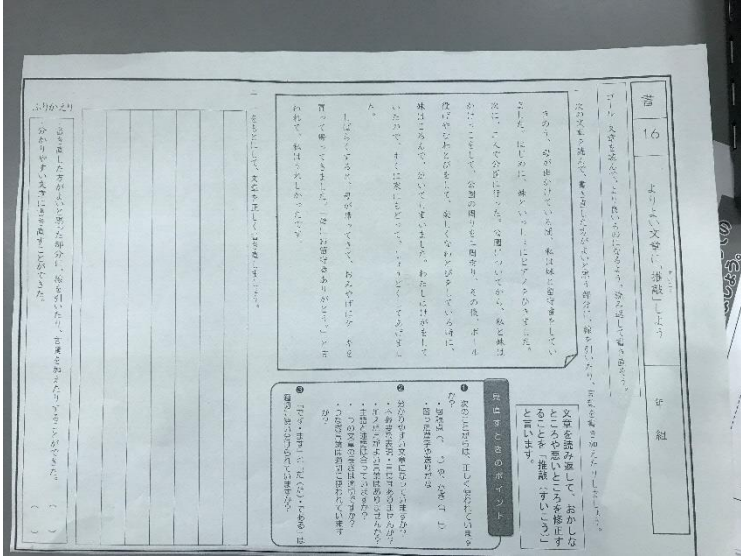
ゴール
グループや学級で、司会、てい案者などの役わりを決めて話し合おう。

- ワークシートを活用し、話し合いのスタイルを構築していくことで、以降の話し合いが徐々に活発になってきた。
- ワークシート活用後の国語の授業で、司会を立て、「自分たちが学習に対して、どうだろう？」というテーマで話し合いを行うことで、「学び合う」ことの価値を深めることができた。
- 以下、授業後の子どもたちの感想。
「個人的には1時間に3回発表したい。今日は1回しか発表できなかった。みんなの意見を聞きたい。楽しい時は1時間の授業が60分やったらいいのにとかよく思う。〇〇さんも板書難しいのにいっぱい書いていてすごいと思った。」
「最初は発表できなかったけど、〇〇さんの意見で付け足しをして、

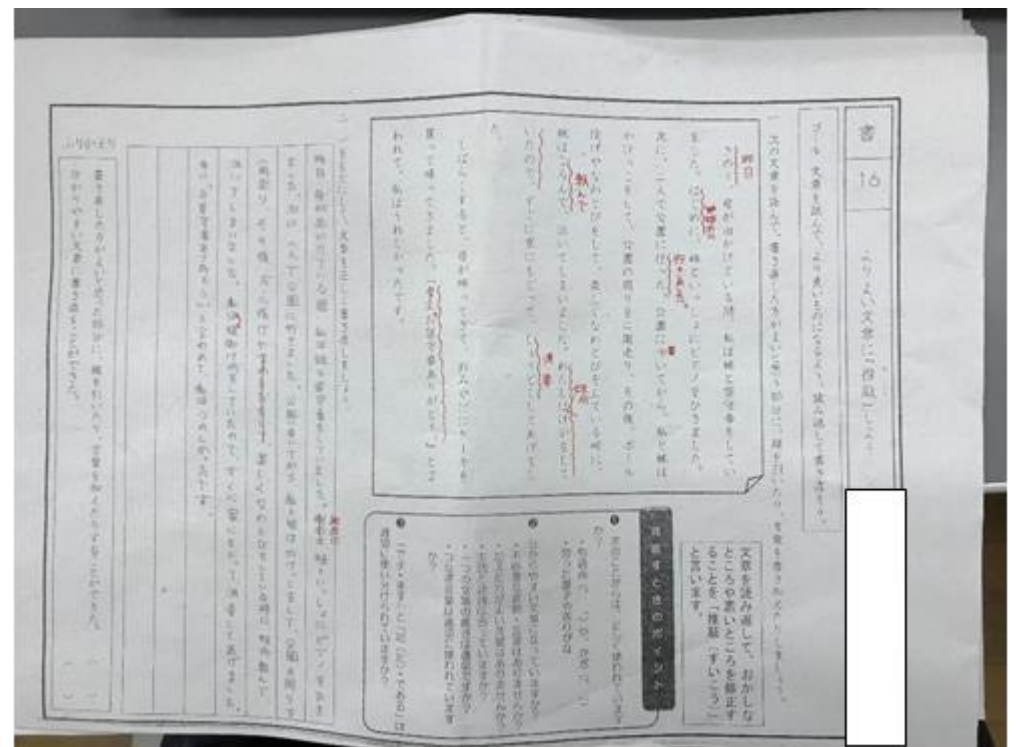
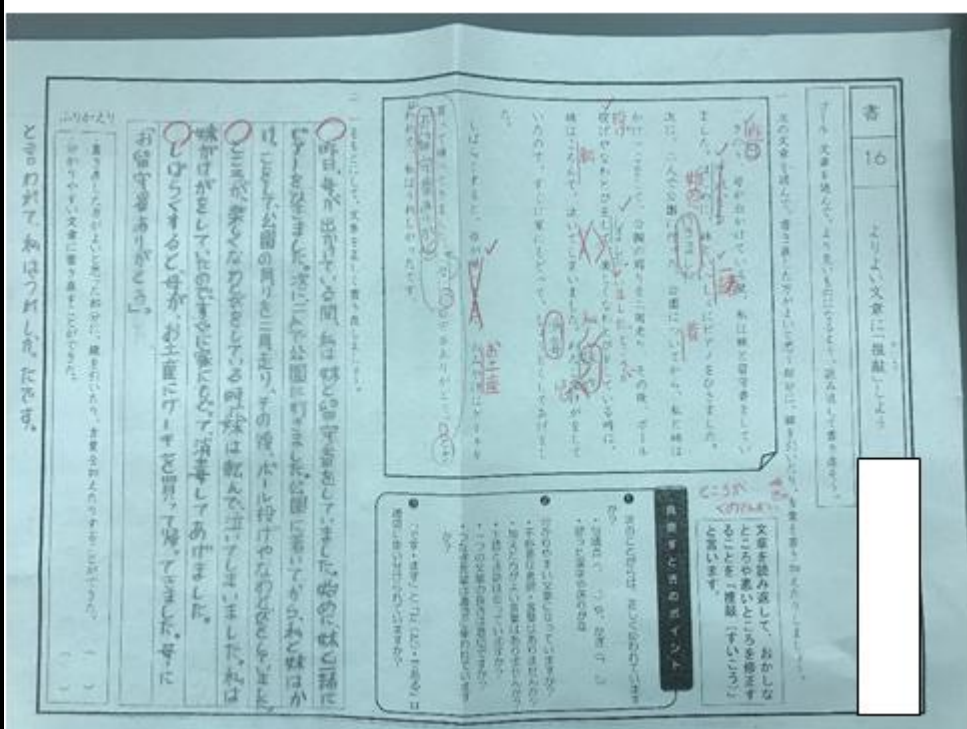
それから意見が言いやすくなった。みんなも1回でいいから発表してみたら、発表しやすくなるんじゃないかなあ。」

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【熊取町立南小学校】


活用シート名	②1よりよい文章に「推敲」しよう			基になった活用シート名	書16 よりよい文章に「推敲」しよう
学年	小学校6年	教科	国語	時期	12月
活用場面	授業（作文の書き方）			配当時間	45分
目標	適切な文章に作り直そう。				
活用シート 工夫した点	 <ul style="list-style-type: none"> ●見直すときのポイントを黒板に書いて確認した後に実施した。 ●漢字は、すぐに直すところがあったようだが、文章の流れについては、書き直さなくても伝わるのではないかと感じている児童も多かったため、ペア、グループで話し合う時間を設けた。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●グループごとに直すところを発表していくと、「あ、そこもあった。」と気づき、他にはないかともう一度文章を読み返し、漢字だけでなく文章の流れにも注目して、一生懸命に探す様子がたくさん見られた。 ●この学習をした後に、卒業作文を推敲した。すると、習った漢字でもひらがなで書いていた言葉を積極的に漢字に直したり、自分の文章を何度も読み返す児童が多かった。 ●話し言葉の「」（かぎかっこ）を使う場面があり、本当なら行変えもしないといけないので、ワークシートの左側の部分は、サンプルの文章と同じ行数と段落の用紙を作るべきだったこと。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



「ことばのちから」活用シート 活用事例

【八尾市立志紀小学校】


活用シート名	②描写名人になろう			基になった 活用シート名	書14① 描写名人になろう
学年	小学校6年	教科	特活・図工	時期	5月
活用場面	授業			配当時間	1時間
目標	絵から読み取ったことを描写できる。				
活用シート 工夫した点	<p>●活用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 教師がある絵を説明した文を読み、どんな絵か想像する。 ② そのあと、用紙を配り、えんぴつでイメージした絵をかいてみる。 ③ ある程度の時間がたったら、文をもう一度読む。(絵の修正OK) ④ みんなで交流 ⑤ 見本の絵を見せる ⑥ 説明文のよかったところ、もう少しこうすればよかったことを話し合う。 ⑦ 自分が選んだ名画で、ワークシートに取り組む。 				
成果や改善点	<p>●導入で、描写のイメージが付きスムーズに活用シートに取り組めた。</p> <p>●見たこと以外に絵から感じたことをからめて描写している児童がいた。</p> <p>●図工で自分が選んだ名画で取り組んだので意欲的に取り組み、図工の時間でも絵の細かいところまで観察して書こうとする児童が多かった。</p> <p>●描写しにくい絵もあり、書くのに困っている児童もいた。</p> <p>●時間の確保（ワークシートは途中までして残りは宿題にした。）</p> <div data-bbox="1470 1261 1890 1513"> <p>ことばのちからワークシート「描写名人になろう」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①先生がある絵を説明した文を読み、どんな絵か想像する。 ②その後、用紙を配りえんぴつでイメージした絵をかいてみる。 ③ある程度の時間がたったら、文をもう一度読む(絵の修正OK) ④みんなでお話 ⑤見本の絵を見せる … 先生用フォルダー→h30→6年→少人数→ことばのちからワークシート→見本の絵出し合う。 ⑥説明文の良かったところ、もう少しこうすればよかったところを出し合う。 ⑦みんなもやってみよう!(図工の模写で選んだ絵) ⑧時間があれば、少し取り掛かり始める。 </div>				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

書 14 ① 描写名人になろう

ゴール 絵の様子を描写しよう。

○ 絵を見て、この絵の様子を詳しく説明する文章を書いてみよう。



この絵の特長は、モビズムを使って、書かれています。この絵の女性はとても悲しそうに立っています。とてもおしゃべりな様子もかいていて、かみの毛はかたくうしろまであてられ長めです。頬の色は緑、昔(色)もわりと青に引けてぬえています。

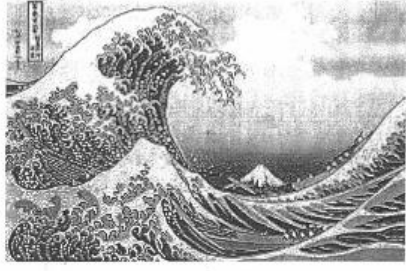
ふりかえり 絵から読み取ったことを、描写できた。

書 14 絵を見て物語を書く。

書 14 ① 描写名人になろう

ゴール 絵の様子を描写しよう。

○ 絵を見て、この絵の様子を詳しく説明する文章を書いてみよう。



この絵は、左に大きな波があります。空は、雲がもっています。左の人に波にのみまられそうにみえている船があります。海はあれて、います。まんまからへんに、富士山があります。その、うじさんは、よくの場所にあるから、小さく見えます。右は、左より、小さく、いれど、大きな波があります。その波の上にも、木でできた船があります。

書 14 絵を見て物語を書く。

「ことばのちから」活用シート 活用事例

【八尾市立志紀小学校】

活用シート名	㉓データにもとづいて			基になった活用シート名	書13 データにもとづいて
学年	小学校6年	教科	特別活動	時期	5・6月
活用場面	授業・集会			配当時間	30分
目標	<p>グラフが示していることを読み取ることができる。</p> <p>グラフから読み取ったことをもとに、自分の考えを書くことができる。</p>				
活用シート 工夫した点	<p>●活用方法</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 1年～6年のきょうだい学級での遊び交流で、どんな遊びをしたいかを1年生用・6年生用にアンケートをとる。 ② アンケートをもとにした2種類のグラフを見て、どの遊びがいいかを選び、その理由をワークシートに書く。 ③ どの遊びがいいか、ワークシートに記入したことをもとに意見交流を行い、その後実行委員会議で遊びを決定。 ④ 実行委員より決まった遊びと選出理由を報告した後、実際にその遊びをきょうだい学級の遊び交流で行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>年 組 名 前 ()</p> <p>1・6ねん こうりゅうについてのアンケート</p> <p>① やすみじかんのすごしかた…1つに○をしましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. うんどうじょうであそぶ 2. きょうしつであそぶ 3. ほんをよむ 4. そのほか () <p>② 6ねんせいと いっしょにしたい あそび</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>1ねん くみ なまえ ()</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>ふりかえり</p> <p>グラフが示していることを読み取り、読み取ったことをもとに、自分の考えを書くことができました。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>「あなたの意見」</p> <p>わたしは、()</p> <p>()遊びがいいと思います。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;"> <p>グラフ② 一緒にしたい遊び</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>グラフ① 休み時間の過ごし方</p> </div> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">○6年1組では、給食交流会の前の時間を使って、1年1組との「あそび交流」を行うことになりました。遊びを一つにしようするため、事前にアンケート調査をもとにして話し合いました。あなたなら、「おにごっこ」「じゃんけん列車」「ドッチボール」「おまわり」のうち、どの遊びを提案しますか。グラフ①②から読み取ったことをもとに、自分の考えを書きましょう。</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p>●実際にする遊びを決めるということで、興味をもって積極的に活動できた。全員が自分の考えを書くことができた。ワークシートに記入後、意見交流を行ったので自分の意見を発表しやすくなった。</p> <p>●また、同じ遊びを選んだ児童同士で意見の付け加えなどができていた。</p> <p>●同じデータを見ても、人それぞれとらえ方が違うことに気づけた児童もいた。</p> <p>●目的に沿ったグラフの読み取りができていない児童がいた。グラフなどのデータを読み取り、目的に沿った意見を書く練習が不十分だと実感した。</p>				
成果や改善点					

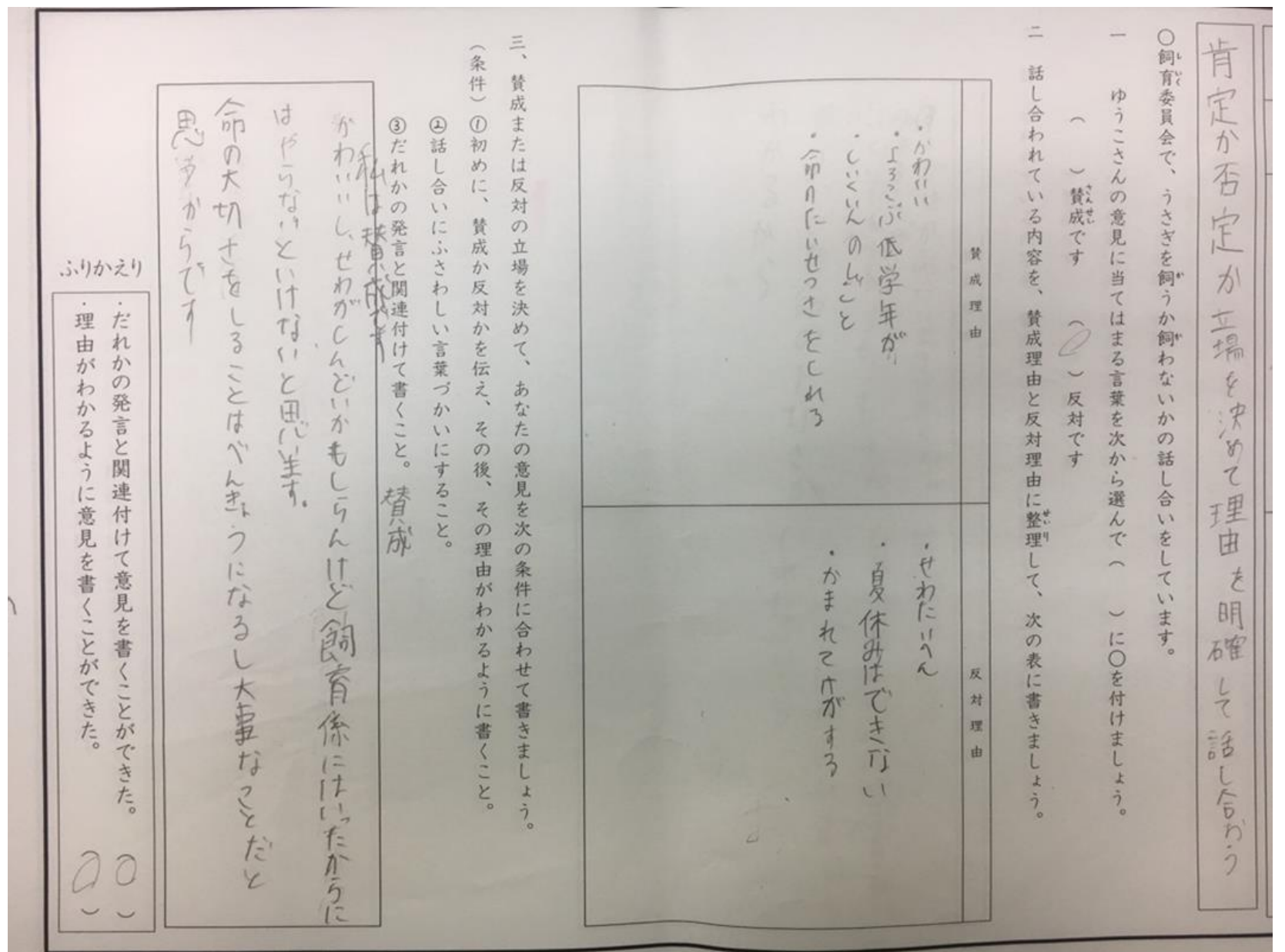
「ことばのちから」活用シート 活用事例

【八尾市立桂小学校】

活用シート名	②④立場を決めて話し合おう			基になった活用シート名	話聞13 立場を決めて話し合おう
学年	小学校6年	教科	国語	時期	6月
活用場面	授業			配当時間	45分
目標	肯定か否定か立場を決めて理由を明確にして話し合おう。				

- 活用方法
- ①担任が教材の中の話し合いの場面を読む。
 - ②プリントに、話し合われている内容を賛成理由と反対理由に整理して、表にまとめる。
 - ③賛成または反対の立場を決めて自分の意見を条件に合わせて書く。
 - ④班で意見を発表しあう。
 - ⑤学習をふりかえる。

活用シート
工夫した点



- 成果や改善点
- 聞いた内容を整理し、表にまとめることで、話し合いを意欲的に聞こうとする姿が見られた。
 - 賛成か反対かの意見を持つことで、人と比べて聞くことができていた。
 - 条件に合わせて書くことで、書き方が発表の話し方になって聞きやすい発表になっていた。
 - だれかの発言と関連付けて書かせることで、自分の意見と比べることができていた。
 - 聞こうとする姿勢はできていたが、人の意見を受け入れようとするのがなかなかできない場面もあった。
 - 児童が想像しやすいよう、話し合いの内容に関してよく考える必要がある。

[目次へ戻る](#)

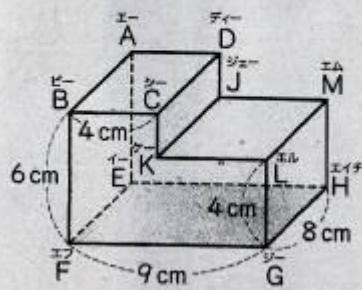
「ことばのちから」活用シート 活用事例

【富田林市立喜志小学校】

活用シート名	㊸直方体を組み合わせた図形の体積の求め方を発表しよう			基になった活用シート名	書2② じゅんじょよく書こう
学年	小学校6年	教科	算数	時期	7月
活用場面	授業（展開）			配当時間	20分
目標	直方体を組み合わせた図形の体積の求めるときにも、順序よく解き方を考えたり、解き方を説明したり、説明を聞いて解き方を自分で書くことができる。				
活用シート ・ 工夫した点	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 1; padding-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●計算の仕方を順序よく説明するだけでなく、直方体を組み合わせた図形においても、部分に分けて、順序よく体積を求めるという考え方が身につくようにした。 ●活用シートを、国語の時間に使用し、順序立てて説明する練習を行ってきた。順序良く説明できるようになった後に、順序良く考えることで、複雑な問題も解くことができることを体験することができた。 </div> </div>				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●国語の時間で、「ことばのちから」活用シートを活用してきた。 ●その成果として、順序良く説明することが身についている。 ●友だちに解き方を説明する際に、順序よく説明することができていた。 ●また、解き方を聞く側の友だちも、友だちが順序よく説明する内容を聞き取り、複雑な図形の解き方も、理解することができた。 ●順序良く考える際に、ノートで行ったので、型を身に付けている児童は、形式が変わっても対応することができたが、不十分な児童に対しては、すぐに書くことができなかった。 ●活用シートに似た形式のワークシートを用意するなど検討していきたい。 				

④ 角柱や円柱の体積の求め方を考えよう 6年(

① 113113な立体の体積を求めよう



④ P.79 ④

左の図のような立体の体積の求め方を考えよう。

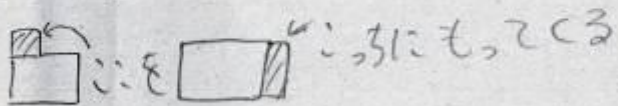
今までに学んだことを使えないかな？

(自分の考え・理由)

1 全ての体積を1つから2つに分けて全体へ組み立てる。
 ① $8 \times 9 \times 6 = 432$ $9 - 4 = 5$ $6 - 4 = 2$ $8 \times 5 \times 2 = 80$ $432 - 80 = 352$ A 352 cm³

1 全ての図形を呂あけるそこから4の体積+図の体積を出す
 ① $8 \times 4 \times 2 = 64$ $8 \times 9 \times 4 = 288$ $288 + 64 = 352$ A 352 cm³

1 全ての図形を面と面にかけてして+をすることで体積を出す
 ① $8 \times 4 \times 6 = 192$ $9 - 4 = 5$ $8 \times 5 \times 4 = 160$ $192 + 160 = 352$ A 352 cm³



$4 + 2 = 11$
 $8 \times 11 \times 4 = 352$
 木


子どもの様子 (発言、ノート、板書、解答例、写真 等)

- 体積を求める際に、「友だちにも解き方を説明できるようにしてごらん」と伝える。
- すぐにできる児童は2割程度であった。
- 解き方の説明を、順序よくすることで、聞いている児童は、「そうそう」と納得して、友だちの考えを記入することができた。
- 解き方を聞いて納得した児童は、友だちの考えを、順序よく記入することができた。

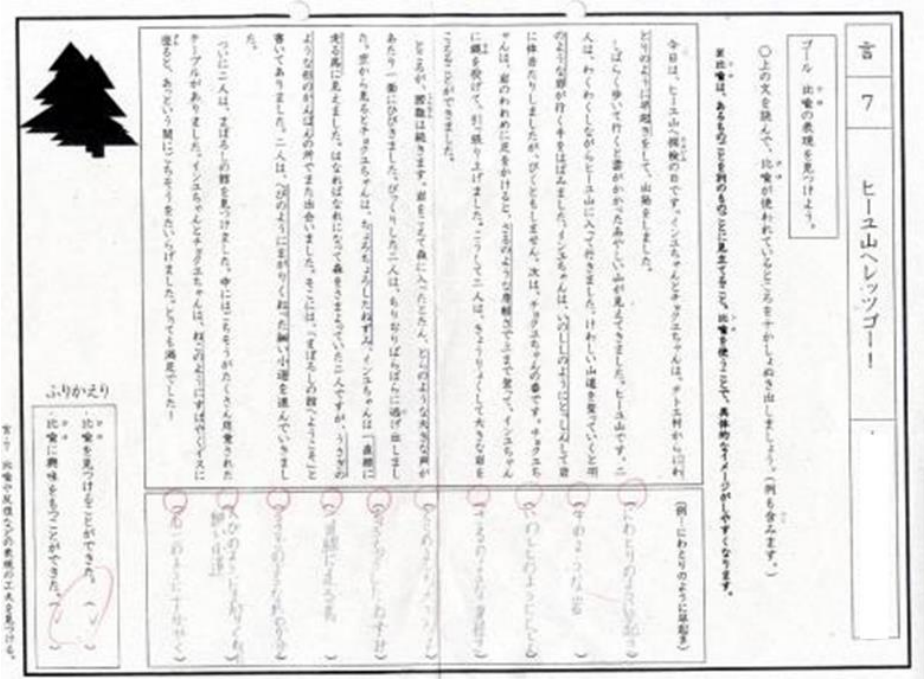
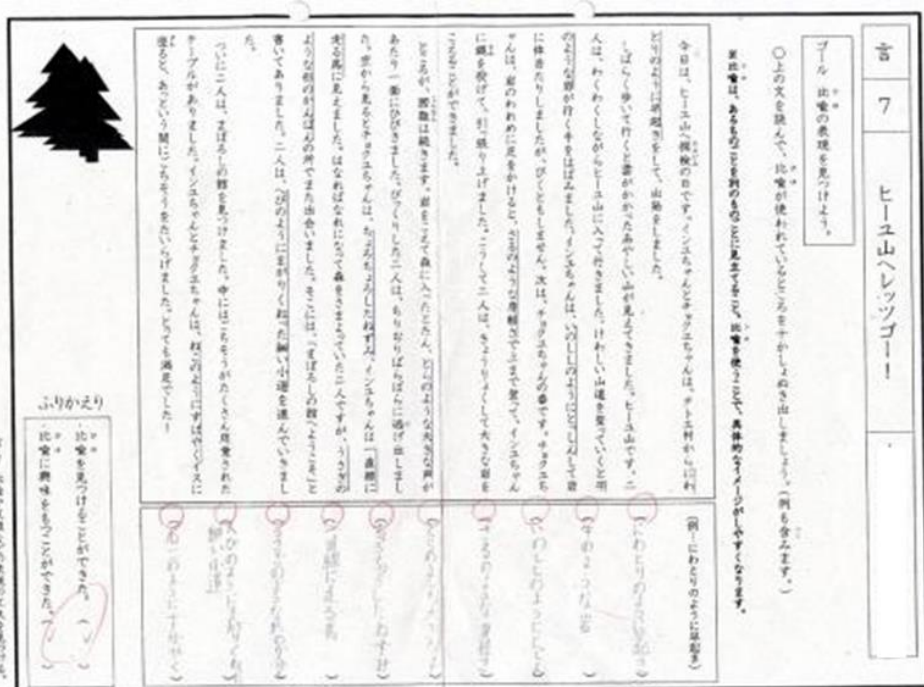
[目次へ戻る](#)

「ことばのちから」活用シート

【富田林市立久野喜台小学校】

活用シート名	②⑥ヒュー山へレッツゴー！			基になった活用シート名	言7 ヒュー山へレッツゴー！
学年	小学校6年	教科	国語	時期	7月
活用場面	家庭学習			配当時間	15分
目標	文章を読み、比喩の表現を見つける。				
活用シート 工夫した点				<ul style="list-style-type: none"> ●ただの学習プリントで終わってしまわないよう、「森へ」の中の表現の工夫で子どもたちから、「比喩表現」というキーワードを出し、どういう表現の工夫なのか確認してから、宿題として出した。 ●丸つけの際に、もう一度どこが比喩の表現になるのか、全員で線を引きながら再度確認し、「比喩」を意識できるようにした。 	
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ●普段、教材などで表現の工夫が出てきても、そこで確認して終わってしまうが、「森へ」の単元でこのプリントを利用することで、子どもたちと複数にわたり「比喩の表現」を確認できた。 ●比喩が使われすぎていて「具体的なイメージがしやすくなる」よりも、ややこしくなる児童がいたので、文章の中の比喩表現をへらすことで、比喩の良さを感じられるようになるかもしれない。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



「ことばのちから」活用シート

【松原市立天美小学校】

活用シート名	㉗ そうなる訳はここにある			基になった活用シート名	書7 今日学んだこと、 教えるよ！
学 年	小学校6年	教 科	算 数	時 期	6 月
活用場面	授業（展開）			配当時間	15分
目 標	円の面積の公式について、順序立てて説明をすることで、頭の中でイメージしたことを言語化する。 理解したことを整理し、子ども自身が学びの再構築を行うことで、確かな学力の定着を目指す。				
活用シート 工夫した点	<div style="display: flex; align-items: flex-start;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 1; padding-left: 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> ● 横書きでの記述にしたこと。 ● 課題を変えることで様々な教科や単元で活用することができた。 ● 伝える相手（家族）を常に意識させたこと。 ● 以前に作成したものと比較することで、記述の傾向、自分自身の成長や課題を意識させたこと。 ● 面積の公式が成立する上でポイントになる部分を意識し、特に詳しく説明することを心掛けたこと。 </div> </div>				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉で説明する前に、班の話し合い活動の中で円を長方形に変形させて、「縦（半径）×横（円周÷2）」と考える。 ● 「円周＝半径×2×円周率」と考えると、「半径×半径×2×円周率÷2」となり、「半径×半径×円周率」と式を整えることで公式になることを考えさせたので、書く手立てとなった。 ● 「おわり」の部分は、感想だけで終わるのではなく、解答例で書かれているような、学習を通じて広がった自分の世界観などを、具体的に例示し意識させる必要があるが、なかなか鉛筆が進まない子どもが多かったので、もっと具体的に何を書かかを示す必要があると感じた。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真 等）

ゴール 公式になるためのポイントを意識して、わかりやすく説明しよう。

課題：「円の面積＝半径×半径×円周率」となる理由を説明しよう

「はじめ」
何の教科のどんなことを学んだのかをかんたんに書きましょう。

算数の授業でわたし達は円の面積を求める公式が
(半径) × (半径) × (円周率)
だということを学びました。

説明するときのポイントとなることを図や式や絵にして書いておこう！

「なか」
学んだことをくわしく説明します。
どのような内容だったか
ということや、授業中に出された意見などを、具体的に書きましょう。

まず、円を長方形に変えました。
次に、長方形の面積を求める公式にあてはめました。公式は、 $10 \times 20 \times 3.14 \div 2$ です。

そして、簡単に求められるようにします。
 $10 \times 20 \times 3.14 \div 2 = 10 \times 10 \times 3.14$ になるので言葉であらわすと半径×半径×円周率になります。

「おわり」
学んだことに対するあなたの意見や考えを、まとめて書きましょう。

ふりかえろう

・「はじめ」「なか」「おわり」の組み立てで文章を書くことができた。()
・つなぎ言葉を使って文章を書くことができた。()

効果的な構成(始め・中・終わり)や段落を工夫したり、接続詞を意識して書く。

ふりかえり
円の面積を求める公式を説明することは今まで出来なかったけど、班の交流で、説明できるようになってよかった。

ゴール 公式になるためのポイントを意識して、わかりやすく説明しよう。

課題：「円の面積＝半径×半径×円周率」となる理由を説明しよう

「はじめ」
何の教科のどんなことを学んだのかをかんたんに書きましょう。

算数の授業でわたし達は円の面積を求める公式が
(半径) × (半径) × (円周率)
だということを学びました。

説明するときのポイントとなることを図や式や絵にして書いておこう！

「なか」
学んだことをくわしく説明します。
どのような内容だったか
ということや、授業中に出された意見などを、具体的に書きましょう。

まず、長方形に変形します。
すると、底辺は円周の半分の
 $20 \times 3.14 \div 2 = 31.4$ cm
高さは半径の10cmになる
次に式は $20 \times 3.14 \div 2 \times 10$ を文字
で表すと $直径 \times 3.14 \div 2 \times 半径 = 半径 \times 半径 \times 3.14$ になる。
最後に公式は半径×半径×3.14になる。

「おわり」
学んだことに対するあなたの意見や考えを、まとめて書きましょう。

何かにあてはめて考えると公式ができるのではないかと思った。

ふりかえろう

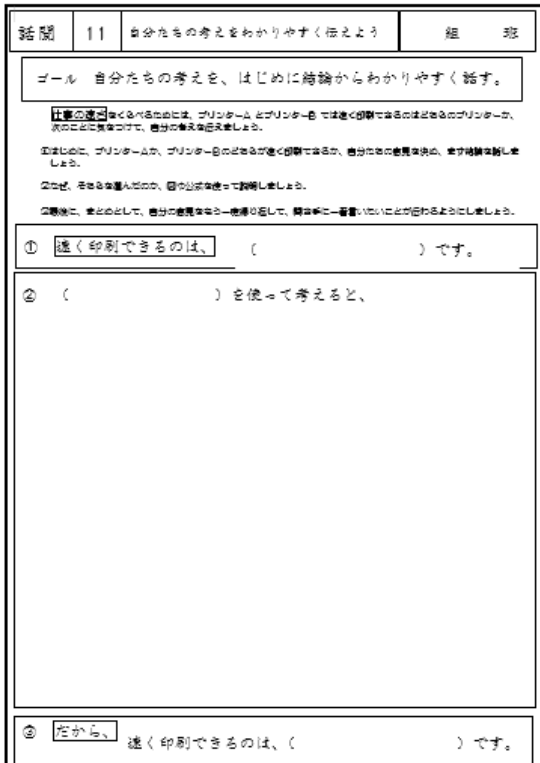
・「はじめ」「なか」「おわり」の組み立てで文章を書くことができた。(○)
・つなぎ言葉を使って文章を書くことができた。(○)

効果的な構成(始め・中・終わり)や段落を工夫したり、接続詞を意識して書く。

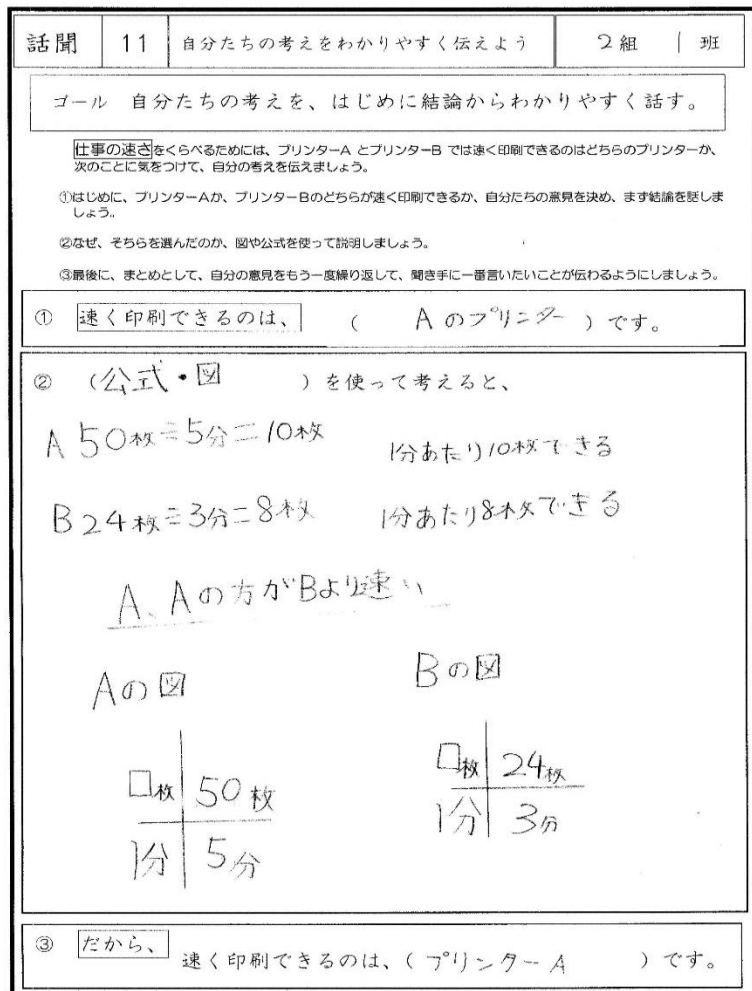
ふりかえり
円の面積は直径÷2を半径と工夫することで半径×半径×3.14という簡単な公式になった。

「ことばのちから」活用シート

【松原市立中央小学校】

活用シート名	⑳自分の考えを分かりやすく伝えよう			基になった活用シート名	話聞11 自分の考えをわかりやすく伝えよう
学年	小学校6年	教科	算数	時期	6月
活用場面	授業（班討議）			配当時間	10分
目標	課題に対する自分たちの考えを、はじめに結論から分かりやすく話すこと				
活用シート 工夫した点	 <ul style="list-style-type: none"> ● 算数で活用するために、横書きにした。 ● めあてに合わせて、どんなことに気を付けて考えを伝えるのかを追記した。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体で発表する際の手立てとなり、順序立てて発表できた。 ● このシートを活用することで、子どもたち自身が考えの違いに気付けるようになった。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）



話聞 11 自分たちの考えをわかりやすく伝えよう 2組 1班

ゴール 自分たちの考えを、はじめに結論からわかりやすく話す。

仕事の速さをくらべるためには、プリンターAとプリンターBでは速く印刷できるのはどちらのプリンターか、次のことに気を付けて、自分の考えを伝えよう。

①はじめに、プリンターAか、プリンターBのどちらが速く印刷できるか、自分たちの意見を決め、まず結論を話ししよう。

②なぜ、そちらを選んだのか、図や公式を使って説明しよう。

③最後に、まとめとして、自分の意見をもう一度繰り返して、聞き手に一言言いたいことが伝わるようにしよう。

① 速く印刷できるのは、(Aのプリンター)です。

② (公式・図) を使って考えると、

A 50枚 ÷ 5分 = 10枚 1分あたり10枚できる

B 24枚 ÷ 3分 = 8枚 1分あたり8枚できる

A、Aの方がBより速い

Aの図

□枚	50枚
1分	5分

Bの図

□枚	24枚
1分	3分

③ だから、速く印刷できるのは、(プリンターA)です。

- 班討議を行う際に、班の意見をまとめるために使った。
- 班長が司会を行い、班のメンバーの意見を聞いた後、班でまとめた。
- 発表の際にはシートを参考にしながら発表をした。

「ことばのちから」活用シート

【松原市立天美小学校】

活用シート名	㊸班の考えをわかりやすく伝えよう			基になった活用シート名	話聞11 自分の考えをわかりやすく伝えよう
学年	小学校6年	教科	算数	時期	6月
活用場面	授業（展開）			配当時間	15分
目標	速さの比べ方において、「時間あたりの道のり」の単位量か「道のりあたりの時間」の単位量、どちらが比較しやすいかを理解する。				
活用シート 工夫した点	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>話聞 11 自分の考えをわかりやすく伝えよう</p> <p>グループ 自分の考えを、はじめに結論からわかりやすく話す。</p> <p>① 速さを比べるときは、道のりあたりの時間か、時間あたりの道のりかで比べよう。どちらでもかまいません。自分の考えを伝えよう。</p> <p>② はじめに、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>③ さやさん、まいさん、植木の考えを聞き、速さを比べよう。</p> <p>④ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>⑤ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>⑥ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>⑦ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>⑧ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>⑨ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>⑩ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>⑪ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>⑫ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>⑬ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>⑭ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>⑮ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>⑯ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>⑰ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>⑱ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>⑲ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>⑳ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㉑ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㉒ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㉓ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㉔ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㉕ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㉖ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㉗ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㉘ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㉙ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㉚ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㉛ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㉜ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㉝ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㉞ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㉟ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㊰ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㊱ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㊲ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㊳ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㊴ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㊵ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㊶ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㊷ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㊸ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㊹ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㊺ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㊻ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㊼ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㊽ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㊾ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㊿ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> <p>㊿ 速いのは、さやさん、まいさんの考えのどっちが速いかを比べよう。自分の考えを伝えよう。</p> <p>㊿ 植木に、まいさん、自分の考えをもう一度繰り返して、聞き手に「書きたいこと」を伝えるようにしよう。</p> </div>				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ討議の中でどちらの単位量あたりで速さを比較する方が便利かを話し合う場面で活用した。 ● 結論から述べ、その根拠を理由の部分に書けるように工夫した。 ● 本時の学習のまとめである「速さは単位時間あたりの道のりで比べると比べやすい」という言葉を、最後の「だから」に続く部分にすることで、ポイントをおさえられるようにした。 				
成果や改善点	<ul style="list-style-type: none"> ● 数値が大きい方が速いという単位量あたりの道のりで速さを比べる方法を、授業者が一方的におさえるのではなく、子ども達が自ら考えた理由を1つ1つ検証することができた。 ● 今回はグループ討議で活用したが、個人の意見を同じワークシートに書く時間を確保してから、班討議で話し合うとさらに効果的であると感じた。 				

子どもの様子（発言、ノート、板書、解答例、写真等）

<p>① 班のおすすめは (まいこ) さんの考え方です。</p>	<p>② 一つ目の理由は、 数が大きい方がわかりやすいからです。 二つ目の理由は、 わりきれたら計算しやすいからです。 三つ目の理由は、 一分間あたりにすすむきより長い方がわかりやすいからです。</p>	<p>③ だから、 ※出てはまる言葉で○で開こう。 速さは(時間)道のりあたりに進む(時間)道のりで比べることをおすすめします。</p>
--------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------

ふりかえり

はじめに結論を話し、説明することができた。

話 11 はじめに結論を話し、意見を述べた。

道のりも時間もちがう時の速さの比べ方について考えよう。(9/28)

(考え)
正しいのはさやかさんです。
理由は、1m進むのにかかった時間が④より①の方が速いからです。

正しいのはまいこさんです。
理由は、1分間に進む道のりが④より①の方が長い道のりを進んでいるからです。
(ふりかえり) *なぜ正しいと思ったか理由がしっかりと書けていてわかりやすいです。*

どちらも比べることができると、まいこさんのやり方の数が大きい方が速いとわかりやすいからまいこさんの方がわかりやすいと思っ
た。
その通り!! どちらの方法も比べられるけどよりわかりやすい方法について考えることができます。

[目次へ戻る](#)